HP Pavilion dm3 エンターテイメント PC
ユーザー ガイド

初版：2009 年 12 月

製品番号：589236-291

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターで対応していない場合もあります。

『ユーザー ガイド』の最新情報を入手するには、HP の Web サイト http://www.hp.com/support/にアクセスしてください。

安全に関するご注意

⚠ **警告！** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよび AC アダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

目次

4 ポインティング デバイスおよびキーボード

5 マルチメディア

6 電源の管理

8 ドライブと外付けデバイス

9 セキュリティ

10 [HP QuickWeb]の設定変更

付録 A セットアップ ユーティリティ（BIOS）

1 お使いになる前に

お使いのコンピューターのメインのオペレーティング システムは、Microsoft® Windows®です。また、お使いのコンピューターには、[HP QuickWeb]がインストールされている場合があります（一部のモデルのみ）。

- Microsoft Windows オペレーティング システムは、ディスプレイにデスクトップを表示し、コンピューターのハードウェア、周辺機器、およびソフトウェア プログラムを制御します。
- お使いのコンピューターに[HP QuickWeb]がインストールされている場合は、メインのオペレーティング システムを起動しなくても、[HP QuickWeb]を使用してすばやくインターネットを参照したり、デジタル写真を表示したり、音楽を聴いたり、電子メール、インスタント メッセージ、または[Skype]（一部のモデルのみ）で連絡を取り合ったりできます。

注記： [HP QuickWeb]を無効または再び有効にするには、第 10 章の「[HP QuickWeb]の設定変更」を参照してください。通知領域にある[ヘルプ]アイコンをクリックすると、[HP QuickWeb]のソフトウェア ヘルプにアクセスできます。

[HP QuickWeb]の使用（一部のモデルのみ）

[HP QuickWeb]を起動するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れます。[HP QuickWeb]の画面が開きます。
2. [QuickWeb]画面のアイコンをクリックしてプログラムを起動します。

Microsoft Windows から[HP QuickWeb]を起動するには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]**→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→**[再起動]**の順にクリックします。コンピューターが再起動し、[HP QuickWeb]のホーム ページが表示されます。

注記： [HP QuickWeb]について詳しくは、[HP QuickWeb]のソフトウェア ヘルプを参照してください。

2 機能

ハードウェアの確認

コンピューターに取り付けられているハードウェアの一覧を参照するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**の順に選択します。次に、**[システム]**領域で**[デバイス マネージャー]**をクリックします。

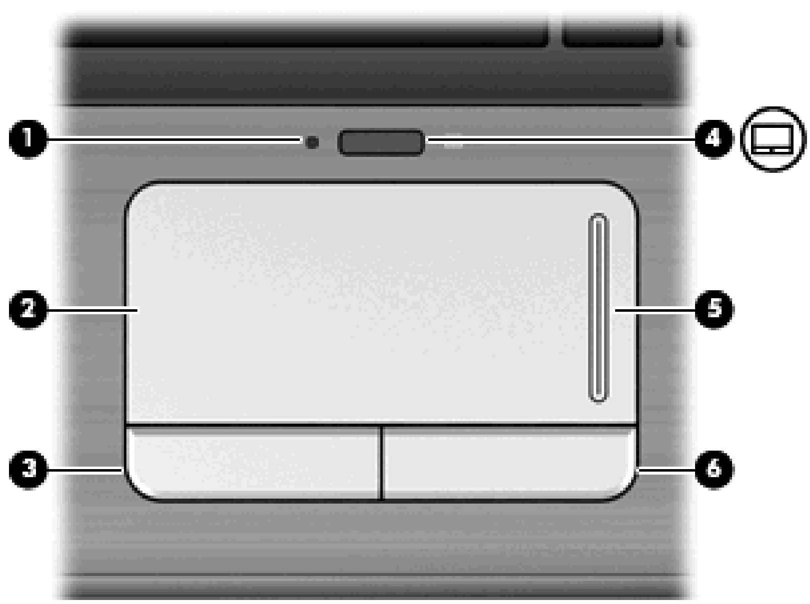
[デバイス マネージャー]を使用して、ハードウェアの追加またはデバイス設定の変更もできます。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

各部の名称

表面の各部

タッチパッド

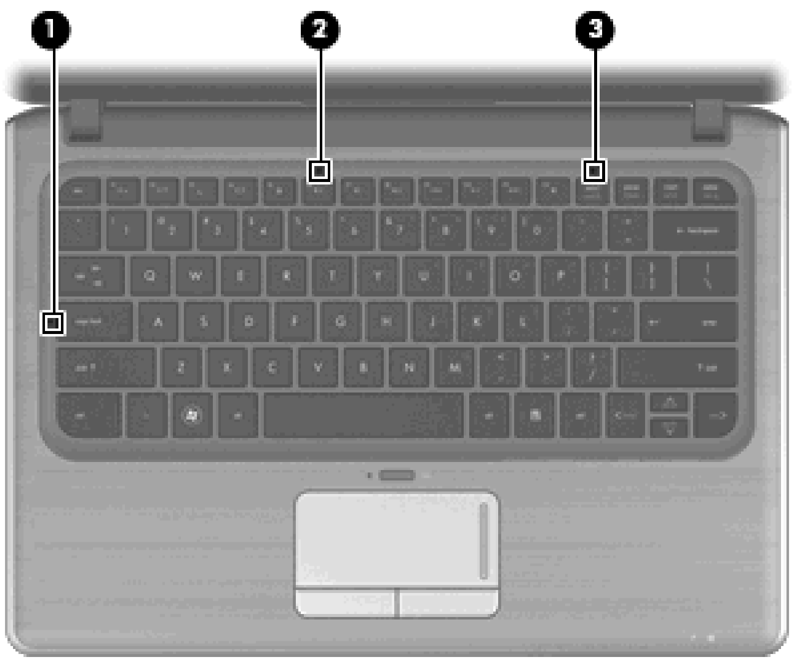


名称		説明
(1)	タッチパッド ランプ	● 白色：タッチパッドが有効になっています ● オレンジ色：タッチパッドが無効になっています
(2)	タッチパッド*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします

名称		説明
(3)	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(4)	タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドの有効/無効を切り替えます
(5)	タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
(6)	右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

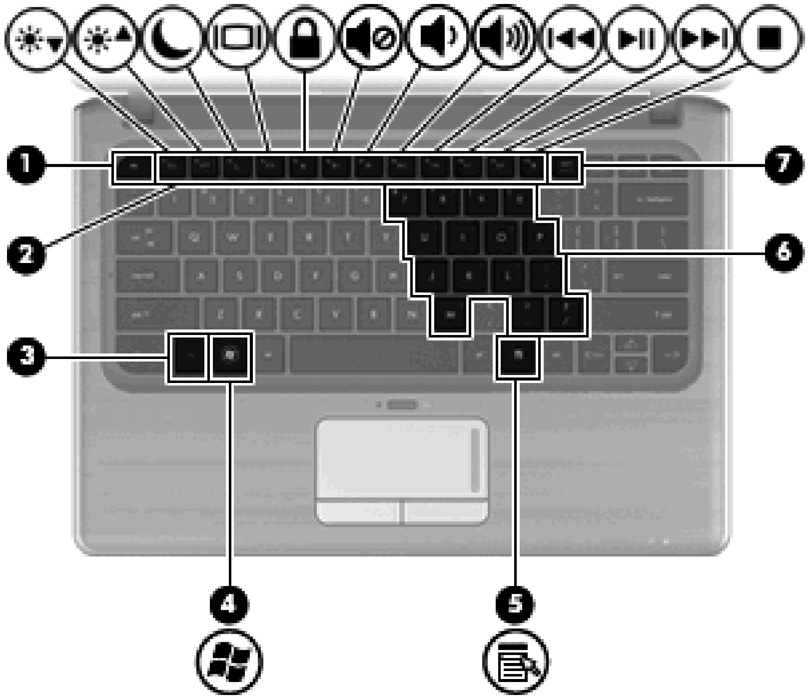
*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]**→**[デバイスとプリンター]**の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、**[マウス設定]**をクリックします。

ランプ



名称		説明
(1)	Caps Lock ランプ	点灯：Caps Lock がオンになっています
(2)	ミュート（消音）ランプ	点灯：コンピューターの音が消えている状態です
(3)	Num Lock ランプ	点灯：内蔵テンキーが有効な状態か、別売の外付けテンキーで Num Lock が有効な状態です

キー



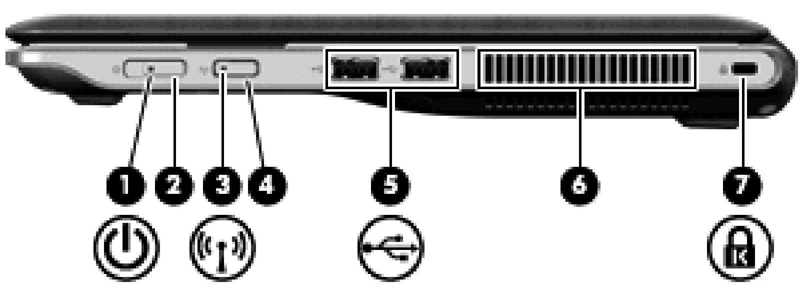
名称			説明
（1）		esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
（2）		fn キー	矢印キー、num lk キー、または esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
（3）		Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
（4）		Windows アプリケーション キー	カーソルを置いた項目のショートカット メニューを表示します
（5）		内蔵テンキー	内蔵テンキーが有効になっているときは、外付けテンキーと同様に使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです
（6）		操作キー	頻繁に使用するシステムの機能を実行します
（7）		num lk キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります。

前面の各部



名称		説明
(1)	スピーカー（×2）	サウンドを出力します
(2)	バッテリ ランプ	点灯：バッテリが充電中です 点滅：コンピューターの電源としてバッテリのみを使用していて、ロー バッテリ状態になっています。完全なロー バッテリ状態になった場合は、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます 消灯：コンピューターが外部電源に接続されている場合、コンピューターに装着されているすべてのバッテリが完全に充電されると、このランプは消灯します。コンピューターが外部電源に接続されていない場合は、ロー バッテリ状態になるまでランプは消灯したままです
(3)	ドライブ ランプ	白色：ハードドライブにアクセスしています 点滅：ハードドライブまたは別売の外付けオプティカル ドライブにアクセスしています オレンジ色：[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってハードドライブが一時停止しています

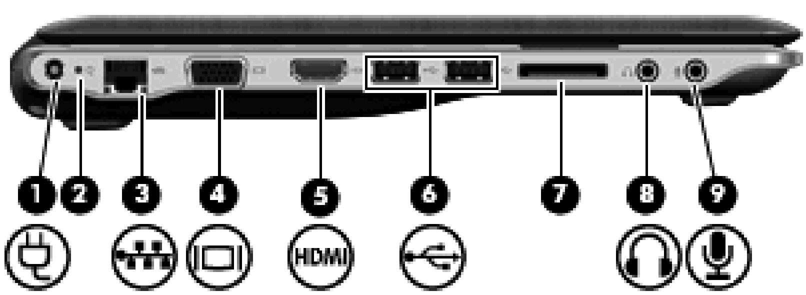
右側面の各部



名称		説明
(1)	電源ランプ	• 点灯：コンピューターの電源がオンになっています • 点滅：コンピューターがスリープ状態になっています • 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
(2)	電源スイッチ	• コンピューターの電源が切れているときにスライドさせると、電源が入ります • コンピューターの電源が入っているときに短くスライドさせると、スリープが開始します

名称		説明
		● コンピューターがスリープ状態のときに短くスライドさせると、スリープが終了します ● コンピューターがハイバネーション状態のときに短くスライドさせると、ハイバネーションが終了します コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源スイッチをスライドさせて 5 秒程度そのままにすると、コンピューターの電源が切れます 電源設定について詳しくは、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[電源オプション]**の順に選択します
(3)	無線ランプ	● 青色：無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイス、または Bluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスがオンになっています ● オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています
(4)	無線ボタン	無線機能をオンまたはオフにしますが、無線接続は作成されません 注記：　無線接続を確立するには、無線ネットワークがセットアップされている必要があります
(5)	USB コネクタ（×2）	別売の USB デバイスを接続します
(6)	通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記：　内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(7)	セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します 注記：　セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません

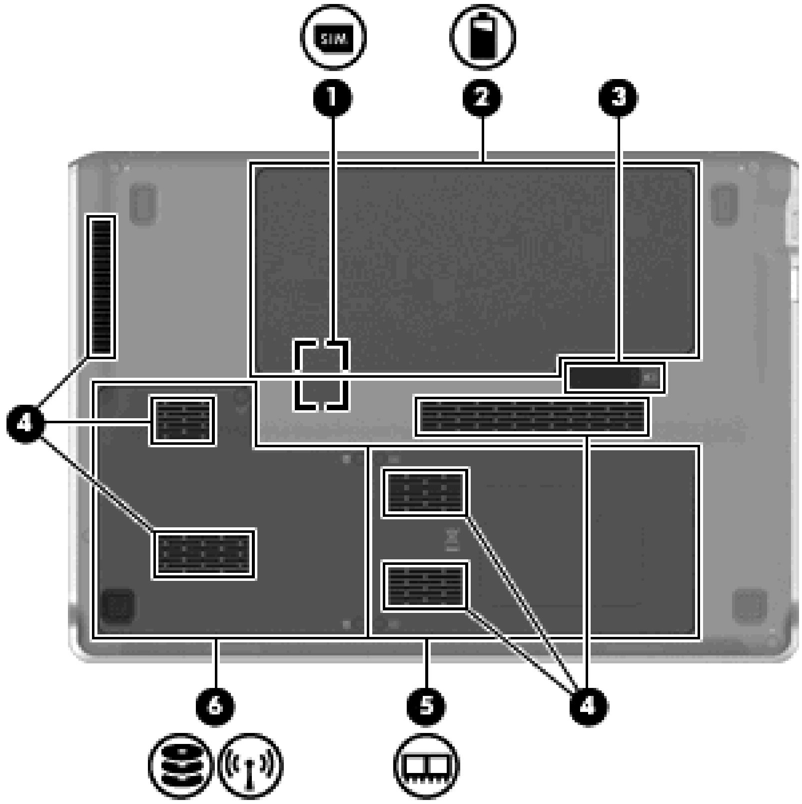
左側面の各部



名称		説明
(1)	電源コネクタ	AC アダプターを接続します
(2)	AC アダプター ランプ	● 点灯：コンピューターは外部電源に接続されています ● 消灯：コンピューターは外部電源に接続されていません
(3)	RJ-45（ネットワーク）コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します
(4)	外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します

名称		説明
(5)	HDMI コネクタ	HD 対応テレビなどの別売のビデオ デバイスやオーディオ デバイス、または対応するデジタルコンポーネントやオーディオ コンポーネントを接続します
(6)	USB コネクタ（×2）	別売の USB デバイスを接続します 注記： 一部のモデルでは、別売の USB オプティカル ディスク ドライブを使用できます。詳しくは、印刷物の『クイック セットアップ』を参照してください
(7)	メディア スロット	以下のフォーマットのメディア カードに対応しています ● メモリースティック（MS） ● メモリースティック PRO（MS PRO） ● マルチメディアカード（MMC） ● SD（Secure Digital）メモリ カード ● SDHC（Secure Digital High Capacity）メモリ カード ● xD ピクチャーカード（XD） ● xD ピクチャーカード（XD）Type H ● xD ピクチャーカード（XD）Type M
(8)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオを接続したときに、サウンドを出力します 注記： ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
(9)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します

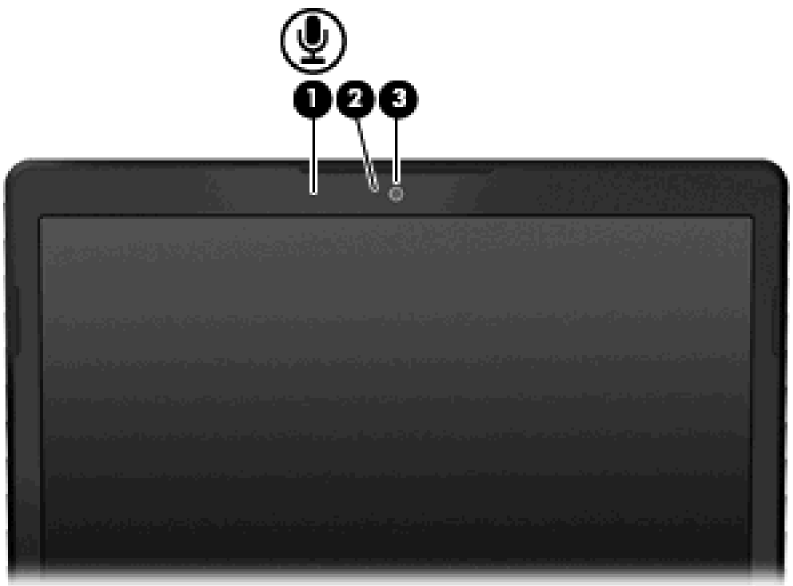
裏面の各部



名称			説明
(1)		SIM（Subscriber Identity Module）スロット（一部のモデルのみ）	バッテリ ベイの中にあります
(2)		バッテリ ベイ	バッテリが装着されています
(3)		バッテリ リリース ラッチ	バッテリ ベイからバッテリを取り外します
(4)		通気孔（×6）	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(5)		メモリ モジュール コンパートメント	メモリ モジュール スロット（一部のモデルでは 2 スロット）および無線 LAN（WLAN）モジュール スロットがあります **注意：** システムの応答停止を防ぐため、無線 LAN モジュールを交換する場合は、日本国内の無線デバイスの認定/承認機関でこのコンピューター用に認定された無線モジュールのみを使用してください。モジュールを交換した後にエラー メッセージが表示される場合は、モジュールを取り外してコンピューターを元の状態に戻した後で、[ヘルプとサポート]からサポート窓口にお問い合わせください
(6)		ハードドライブ ベイ	ハードドライブ、および無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）モジュールを装着します（一部のモデルのみ）

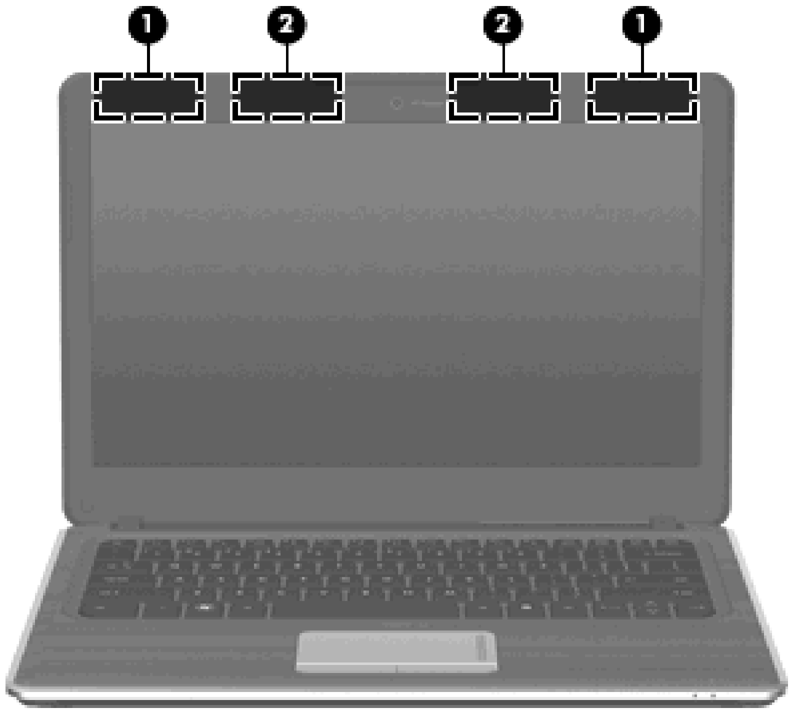
名称	説明
	注意： システムの応答停止を防ぐため、無線 LAN モジュールを交換する場合は、日本国内の無線デバイスの認定/承認機関でこのコンピューター用に認定された無線モジュールのみを使用してください。モジュールを交換した後にエラー メッセージが表示される場合は、モジュールを取り外してコンピューターを元の状態に戻した後で、[ヘルプとサポート]からサポート窓口にお問い合わせください

ディスプレイの各部



名称		説明
(1)	内蔵マイク	サウンドを録音します
(2	Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています
(3)	Web カメラ	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします

無線アンテナ



名称		説明
(1)	無線 WAN アンテナ（×2）（一部のモデルのみ）*	無線ワイドエリア ネットワーク（無線 WAN）で通信する無線信号を送受信します
(2)	無線 LAN アンテナ（×2）*	無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）で通信する無線信号を送受信します
*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。		

お住まいの地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。

その他のハードウェア コンポーネント



名称		説明
(1)	電源コード*	AC アダプターを接続します
(2)	AC アダプター	AC 電源を DC 電源に変換します
(3)	バッテリ*	コンピューターが外部電源に接続されていないときに、コンピューターに電力を供給します

*バッテリおよび電源コードは、国や地域によって外観が異なります。このコンピューターを日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードをお使いください。付属の電源コードは、他の製品では使用できません。

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス タグ：以下の情報を含む重要な情報が記載されています。



  - (1) 製品名：コンピューターの前面に貼付されている製品名です。
  - (2) シリアル番号（s/n）：各製品に一意の英数字 ID です。
  - (3) 製品番号（p/n）：製品のハードウェア コンポーネントに関する固有の情報を提示する番号です。製品番号は、サービス担当者が必要なコンポーネントや部品を確認する場合に役立ちます。

- (**4**) モデルの記載：お使いのコンピューターに関する文書、ドライバー、サポート情報を得るときに使用します。
- (**5**) 保証期間：このコンピューターの標準保証期間が記載されています。

これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせをするときに必要です。サービス タグ ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。

- Microsoft Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。このラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、バッテリ カバーの下に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。オプションのデバイスは、無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス、HP モバイル ブロードバンド モジュール、または Bluetooth デバイスなどです。1 つ以上の無線デバイスを使用している機種には、1 つ以上の認定ラベルが貼付されています。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- SIM（Subscriber Identity Module）ラベル（一部のモデルのみ）：SIM の ICCID（Integrated Circuit Card Identifier）が記載されています。このラベルは、バッテリ ベイの中に貼付されています。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール シリアル番号ラベル（一部のモデルのみ）：HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が記載されています。このラベルは、バッテリ ベイの中に貼付されています。

3　無線およびローカル エリア ネットワーク

無線デバイスの使用

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが 1 つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカル エリア ネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、各モバイル無線デバイスは無線ルータまたは無線アクセス ポイントと通信します。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール：モバイル ネットワーク事業者のサービスが利用できる場所であればどこでも情報にアクセスできる、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイスです。無線 WAN では、各モバイル デバイスはモバイル ネットワーク事業者の基地局と通信します。モバイル ネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）のネットワークを設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。
- Bluetooth デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッド セット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナル エリア ネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距離になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線 LAN デバイスを搭載したコンピューターは、以下の IEEE 業界標準のうち 1 つ以上に対応しています。

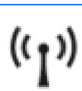
- 802.11b：最初に普及した規格であり、最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。
- 802.11g：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。802.11g の無線 LAN デバイスは 802.11b デバイスとの後方互換性があるため、両方を同じネットワークで使用できます。
- 802.11a：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、5 GHz の周波数で動作します。

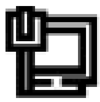
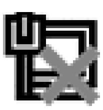
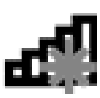
注記：　802.11a は 802.11b および 802.11g との互換性はありません。

- 802.11n は最大 450 Mbps のデータ速度をサポートし、2.4 GHz または 5 GHz で動作します。802.11a、b、g との互換性があります。

無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]の情報および Web サイトへのリンクを参照してください。

無線アイコンとネットワーク ステータス アイコンの確認

アイコン	名前	説明
	無線（接続済み）	コンピューターのハードウェアとしての無線ランプおよび無線ボタンの位置を示します。ソフトウェアとしては、コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを示し、また 1 つ以上の無線デバイスがオンになっていることを表します

	無線（切断済み）	コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアおよびすべての無線デバイスがオフになっていることを示します
	HP Connection Manager	[HP Connection Manager]を開きます。[HP Connection Manager]では、HP モバイル ブロードバンド デバイスを使用した接続を作成できます（一部モデルのみ）
	有線ネットワーク（接続済み）	1 つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、1 つ以上のネットワーク デバイスがネットワークに接続されていることを示します
	ネットワーク（接続済み）	以下の状況になっていることを示します • 1 つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされている • 1 つ以上のネットワーク デバイスが無線ネットワークに接続されている • 1 つ以上のネットワーク デバイスが有線ネットワークに接続されている
	ネットワーク（無効/切断済み）	以下の状況になっていることを示します • 1 つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされている • 使用できる無線接続がないか、すべての無線ネットワーク デバイスが無線ボタンまたは[HP Wireless Assistant]によって無効になっている
	有線ネットワーク（無効/切断済み）	以下の状況になっていることを示します • 1 つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされている • すべてのネットワーク デバイスまたはすべての無線デバイスが Windows の[コントロール パネル]によって無効になっている
	ネットワーク（切断済み）	以下の状況になっていることを示します • 1 つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされている • 使用できる無線接続がある

無線コントロールの使用

以下の機能を使用して、コンピューター本体の無線デバイスを制御できます。

- 無線ボタンまたは無線スイッチ（このガイドでは無線ボタンと呼びます）
- [HP Wireless Assistant]ソフトウェア
- [HP Connection Manager]ソフトウェア（一部のモデルのみ）
- オペレーティング システムの制御機能

無線ボタンの使用

モデルにもよりますが、コンピューターには無線ボタン、1 つ以上の無線デバイス、1 つまたは 2 つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスは有効になっていて、コンピューターの電源を入れると青い無線ランプが点灯します。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。無線ランプが青色に点灯している場合は、1 つ以上の無線デバイスが有効になっていることを示しています。無線ランプが点灯していない場合は、すべての無線デバイスが無効になっていることを示しています。

注記： モデルによっては、すべての無線デバイスがオフになっている場合にオレンジ色のランプが点灯します。

出荷時の設定ではすべての無線デバイスが有効になっています。このため、複数の無線デバイスのオンとオフの切り替えを、無線ボタンで同時に行うことができます。無線デバイスのオンとオフを個別に調整するには、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを使用します。

[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用

無線デバイスは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを使用してオンとオフを切り替えることができます。無線デバイスがセットアップ ユーティリティで無効になっている場合、[HP Wireless Assistant]を使用してそのデバイスのオンとオフを切り替えるには、最初にセットアップ ユーティリティで無線デバイスを有効に設定しなおしておく必要があります。

注記： 無線デバイスを有効にしても（オンにしても）、コンピューターがネットワークまたは Bluetooth 対応デバイスに自動的に接続されるわけではありません。

無線デバイスの状態を表示するには、**[隠れているインジケーターを表示します]**アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックし、無線アイコンの上にマウス ポインターを置きます。

[無線]アイコンが通知領域に表示されていない場合、以下の操作を行って[HP Wireless Assistant]のプロパティを変更します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェア]**→**[Windows モビリティ センター]**の順に選択します。
2. [Windows モビリティ センター]の最下部の[HP Wireless Assistant]の領域にある無線アイコンをクリックします。
3. **[プロパティ]**をクリックします。
4. 通知領域にある**[HP Wireless Assistant]**アイコンの横のチェック ボックスにチェックを入れます。
5. **[適用]**をクリックします。
6. **[閉じる]**をクリックします。

詳しくは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

1. [Windows モビリティ センター]にある無線アイコンをクリックして[HP Wireless Assistant]を開きます。
2. **[ヘルプ]**ボタンをクリックします。

[HP Connection Manager]の使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターの HP モバイル ブロードバンド デバイスを使用して無線 LAN に接続するには、[HP Connection Manager]を使用します。

[HP Connection Manager]を開くには、タスクバーの右端の通知領域にある**[HP Connection Manager]**アイコンをクリックします。

または

[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Connection Manager]→[HP Connection Manager]の順に選択します。

[HP Connection Manager]の使用方法について詳しくは、[HP Connection Manager]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

オペレーティング システムの制御機能の使用

一部のオペレーティング システムでは、オペレーティング システム自体の機能として内蔵無線デバイスと無線接続を管理する方法が提供されています。たとえば、Windows では、[ネットワークと共有センター]によって、接続またはネットワークのセットアップ、ネットワークへの接続、無線ネットワークの管理、およびネットワークの問題の診断と修復が行えます。

[ネットワークと共有センター]にアクセスするには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]**の順に選択します。

詳しくは、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

無線 LAN の使用

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルータまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のコンピューターおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）にアクセスできます。

注記： 無線ルータと無線アクセス ポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業または公共の無線 LAN など、大規模な無線 LAN では通常、大量のコンピューターおよび周辺機器に対応したり、重要なネットワーク機能を分離したりできる無線アクセス ポイントを使用します。
- ホーム オフィス無線 LAN やスモール オフィス無線 LAN では通常、無線ルータを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

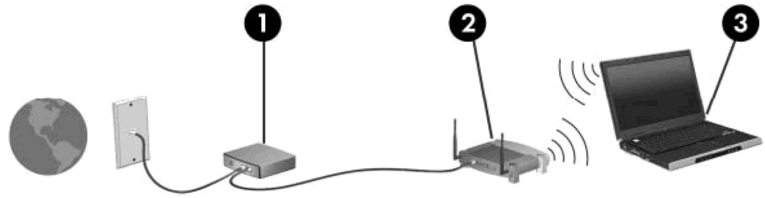
お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供される）に接続する必要があります。

無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）（**1**）およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルータ（別売）（**2**）
- 無線コンピューター（**3**）

下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークのインストール例を示しています。



お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加できます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルータの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

無線 LAN の保護

無線 LAN の標準仕様に備わっているセキュリティ機能は限られていて、基本的には大規模な攻撃ではなく簡単な盗聴を防ぐための機能しかありません。そのため、無線 LAN には、既知でよく確認されているセキュリティの脆弱性があると認識しておくことが大切です。

「無線 LAN スポット」と呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が取られていないことがあります。公共の場でのセキュリティと匿名性を高める新しい技術は、無線デバイスの製造元や無線 LAN スポットのサービス プロバイダーによって開発されている段階です。無線 LAN スポットを利用するときにコンピューターのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、重要でない電子メールや基本的なネット サーフィン程度にとどめておいてください。

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。一般的なセキュリティ レベルは、WPA（Wi-Fi Protected Access）-Personal と WEP（Wired Equivalent Privacy）です。無線信号はネットワークの外に出てしまうため、他の無線 LAN デバイスに保護されていない信号を拾われ、（許可しない状態で）ネットワークに接続されたり、ネットワークでやり取りされる情報を取得されたりする可能性があります。ただし、事前に対策を取ることで無線 LAN を保護できます。

- **セキュリティ機能内蔵の無線トランスミッタを使用する**

  無線基地局、ゲートウェイ、またはルータといったトランスミッタの多くには、無線セキュリティ プロトコルやファイアウォールといったセキュリティ機能が内蔵されています。適切な無線トランスミッタを使用すれば、無線セキュリティでの最も一般的なリスクからネットワークを保護できます。

- **ファイアウォールを利用する**

  ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄する防御壁です。利用できるファイアウォールにはさまざまな種類があり、ソフトウェアとハードウェアの両方があります。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせて使用します。

- **無線を暗号化する**

  さまざまな種類の高度な暗号プロトコルが、無線 LAN ネットワークで利用できます。お使いのネットワークのセキュリティにとって最適な解決策を、以下の中から探してください。

  - **WEP（Wired Equivalent Privacy）**は、すべてのネットワーク データを送信される前に WEP キーで符号化または暗号化する無線セキュリティ プロトコルです。通常は、ネットワーク側が割り当てた WEP キーを使用できます。また、自分でキーを設定したり、異なる

キーを生成したり、他の高度なオプションを選んだりすることもできます。正しいキーを持たない他のユーザーが無線 LAN を使用することはできなくなります。

◦ **WPA**（**Wi-Fi Protected Access**）は、WEP と同じように、セキュリティ設定によってネットワークから送信されるデータの暗号化と復号化を行います。ただし、WEP のように 1 つの決められたセキュリティ キーを利用して暗号化を行うのではなく、「TKIP」（temporal key integrity protocol）を使用してパケットごとに新しいキーを動的に生成します。また、ネットワーク上にあるコンピューターごとに異なるキーのセットを生成します。

他のネットワークへのローミング

お使いのコンピューターを他の無線 LAN が届く範囲に移動すると、Windows はそのネットワークへの接続を試みます。接続の試行が成功すると、お使いのコンピューターは自動的にそのネットワークに接続されます。新しいネットワークが Windows によって認識されなかった場合は、お使いの無線 LAN に接続するために最初に行った操作をもう一度実行してください。

HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンドを使用すると、コンピューターで無線ワイド エリア ネットワーク（WWAN）を使用できるため、無線 LAN でのアクセスよりも、より多くの場所のより広い範囲からインターネットにアクセスできます。HP モバイル ブロードバンドを使用するには、ネットワーク サービス プロバイダー（モバイル ネットワーク事業者と呼ばれます）と契約する必要があります。ネットワーク サービス プロバイダーは、ほとんどの場合、携帯電話事業者です。HP モバイル ブロードバンドの対応範囲は、携帯電話の通話可能範囲とほぼ同じです。

モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用して HP モバイル ブロードバンドを使用すると、出張や移動中、または無線 LAN スポットの範囲外にいるときでも、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が常時可能になります。

HP モバイル ブロードバンドは、以下のテクノロジをサポートしています。

- HSPA（High Speed Packet Access）は、GSM（Global System for Mobile Communications）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。
- EV-DO（Evolution Data Optimized）は、CDMA（Code Division Multiple Access）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。

モバイル ブロードバンド サービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が必要な場合があります。シリアル番号は、コンピューターのバッテリ ベイの内側に貼付されているラベルに印刷されています。

モバイル ネットワーク事業者によっては、SIM（Subscriber Identity Module）が必要な場合があります。SIM には、PIN（個人識別番号）やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。一部のコンピューターでは、SIM がバッテリ ベイにあらかじめ装着されています。SIM があらかじめ装着されていない場合、SIM は、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報に含まれているか、モバイル ネットワーク事業者から別途入手できることがあります。

SIM の装着と取り出しについて詳しくは、この章の「SIM の装着」と「SIM の取り出し」の項を参照してください。

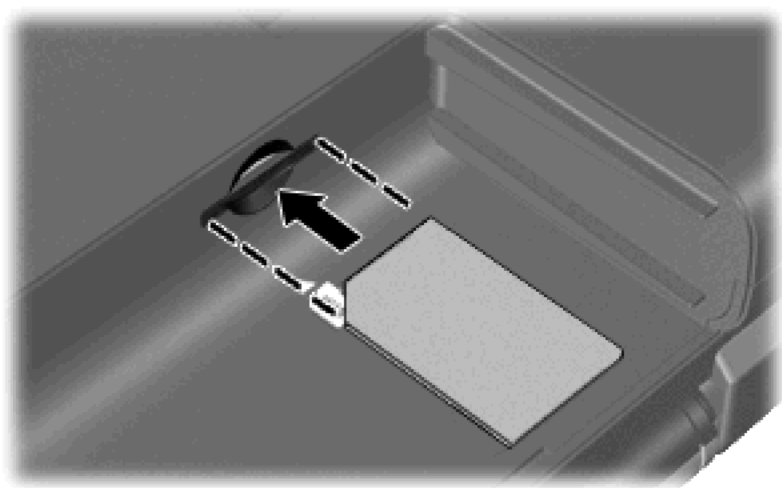
HP モバイル ブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイル ネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報を参照してください。詳しくは、HP の Web サイト、http://www.hp.com/go/mobilebroadband/（英語サイト）を参照してください。

SIM の装着

△ **注意：** コネクタの損傷を防ぐため、SIM を装着するときは無理な力を加えないでください。

SIM を装着するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. バッテリ ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリを取り外します。
7. SIM を SIM スロットに挿入し、しっかり固定されるまでそっと押し込みます。



8. バッテリを取り付けなおします。

注記： バッテリを装着しなおさないと、HP モバイル ブロードバンドは無効になります。

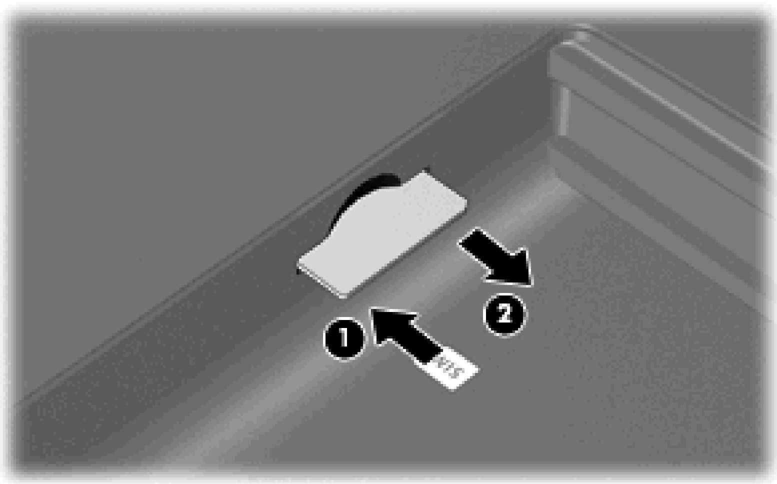
9. 外部電源および必要に応じて外付けデバイスを接続しなおします。
10. 外付けデバイスを接続しなおします。
11. コンピューターの電源を入れます。

SIM の取り出し

SIM を取り出すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。

3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. バッテリ ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリを取り外します。
7. SIM をいったんスロットに押し込んで（**1**）、固定を解除してから取り出します（**2**）。



8. バッテリを取り付けなおします。
9. 外部電源および必要に応じて外付けデバイスを接続しなおします。
10. 外付けデバイスを接続しなおします。
11. コンピューターの電源を入れます。

Bluetooth 無線デバイスの使用

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター（デスクトップ、ノートブック、PDA）
- 電話機（携帯、コードレス、スマート フォン）
- イメージング デバイス（プリンター、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカー）

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN（Personal Area Network）を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）

ホストとして 1 台のコンピューターに Bluetooth を設定し、そのコンピューターをゲートウェイとして利用して他のコンピューターがインターネットに接続できるようにすることは、HP ではおすすめしません。Bluetooth を使用して 2 台以上のコンピューターを接続する場合、インターネット接続共

有（ICS）が可能なのはそのうちの 1 台で、他のコンピューターは Bluetooth ネットワークを利用してインターネットに接続することはできません。

Bluetooth は、お使いのコンピューターと、携帯電話、プリンター、カメラ、および PDA などの無線デバイスとの間で情報をやり取りして同期するような場合に強みを発揮します。Bluetooth および Windows オペレーティング システムでの制約によって、インターネット共有のために複数台のコンピューターを Bluetooth 経由で常時接続しておくことはできません。

無線接続に関する問題のトラブルシューティング

無線接続に関する問題の原因として、以下のようなものが考えられます。

- ネットワーク設定（SSID またはセキュリティ）が変更された。
- 無線デバイスのインストールに失敗した、または無線デバイスが無効である。
- 無線デバイスまたはルータのハードウェアが故障した。
- 無線デバイスが他のデバイスからの干渉を受けている。

注記： 無線ネットワーク デバイスは、一部のモデルにのみ搭載されています。無線ネットワーク機能がコンピューターの基本機能として搭載されていない場合は、無線ネットワーク デバイスを購入してコンピューターに追加できます。

ネットワーク接続の問題を解決する可能性のある方法を 1 つずつ実行する前に、すべての無線デバイスについて、デバイス ドライバーがインストールされていることを確認してください。

使用したいネットワークに接続できないコンピューターの診断および修復を行うには、この章で説明する手順を実行してください。

無線 LAN に接続できない場合

無線 LAN への接続で問題が発生している場合は、内蔵無線 LAN デバイスがコンピューターに正しく取り付けられていることを確認してください。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]**の順に選択します。
2. **[システム]**領域の**[デバイス マネージャー]**をクリックします。
3. **[ネットワーク アダプター]**の横の矢印をクリックして一覧を展開し、すべてのアダプターを表示します。
4. ネットワーク アダプター一覧で無線 LAN デバイスを確認します。無線 LAN デバイスの場合は、「無線」、「無線 LAN」、「WLAN」、「Wi-Fi」、または「802.11」などと表示されます。

   無線 LAN デバイスが表示されない場合は、お使いのコンピューターに無線 LAN デバイスが内蔵されていないか、無線 LAN デバイス用のドライバーが正しくインストールされていません。

無線 LAN のトラブルシューティングについて詳しくは、[ヘルプとサポート]に記載されている Web サイトへのリンクを参照してください。

優先する無線 LAN ネットワークに接続できない場合

Windows では、問題のある無線 LAN 接続を自動で修復できます。

- タスクバー右端の通知領域にネットワーク アイコンがある場合は、そのアイコンを右クリックして、**[問題のトラブルシューティング]**をクリックします。

  Windows は、ネットワーク デバイスをリセットし、優先ネットワークの 1 つに再接続を試みます。

- ネットワーク アイコンが通知領域に表示されていない場合は、以下の操作を行います。

  1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]**の順に選択します。
  2. **[問題のトラブルシューティング]**をクリックしてから、修復するネットワークを選択します。

無線 LAN のネットワーク アイコンが表示されない場合

ネットワーク ステータス アイコンが無線 LAN 設定後に通知領域に表示されない場合は、ソフトウェア ドライバーがなくなったか壊れています。また、[デバイスが見つかりません]という Windows エラー メッセージが表示されることもあります。このような場合には、ドライバーを再インストールする必要があります。

HP の Web サイト、http://www.hp.com/jp/で、お使いのコンピューターに適した最新の無線 LAN コンピューター用ソフトウェアおよびドライバーを入手してください。お使いの無線デバイスが、別途購入されたものである場合は、その無線デバイスの製造元の Web サイトで最新のソフトウェアを確認してください。

お使いのコンピューターの無線 LAN デバイス ソフトウェアの最新のバージョンを入手するには、以下の操作を行います。

1. Web ブラウザーを開き、http://www.hp.com/support/を表示します。
2. 国または地域を選択します。
3. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。
4. enter キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

注記： お使いの無線デバイスが、別途購入されたものである場合は、その無線デバイスの製造元の Web サイトで最新のソフトウェアを確認してください。

現在の無線 LAN ネットワーク セキュリティ コードが使用できない場合

無線 LAN に接続するときにネットワーク キーまたは名前（SSID）の入力を求めるメッセージが表示された場合、そのネットワークはセキュリティ設定によって保護されています。セキュリティ設定で保護されているネットワークに接続するには、現在のコードが必要になります。SSID およびネットワーク キーは半角英数字のコードで、ネットワークへの認証のためにお使いのコンピューターに入力します。

- お使いの無線ルータに接続されているネットワークの場合は、そのルータの説明書を参照し、ルータと無線 LAN デバイスの両方に同じ SSID コードを設定します。
- 会社のネットワークや、公開インターネット チャットなどのプライベート ネットワークの場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてそれらのコードを入手し、コードの入力を求める画面が表示されたときに入力します。

ネットワークによっては、ルータやアクセス ポイントで使用されている SSID を定期的に変更して、セキュリティの向上を図っている場合があります。この変更に応じて、対応するコードをお使いのコンピューターで変更する必要があります。

以前に接続したことがあるネットワーク用に新しいネットワーク キーや SSID が提供されている場合、そのネットワークに接続するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット]**→**[ネットワークと共有センター]**の順に選択します。
2. 左側の枠内の**[ワイヤレス ネットワークの管理]**をクリックします。

   利用可能な無線 LAN を示す一覧が表示されます。複数の無線 LAN が稼動している無線 LAN スポットにいる場合は、複数の無線 LAN が表示されます。
3. 目的のネットワークを右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。

   注記： 使用するネットワークが一覧にない場合は、ネットワーク管理者に連絡して、ルータまたはアクセス ポイントが稼動していることを確認してください。
4. **[セキュリティ]**タブをクリックして、**[ネットワーク セキュリティ キー]**フィールドに無線暗号化のデータを正しく入力します。
5. **[OK]**をクリックしてこれまでの設定を保存します。

無線 LAN 接続が非常に弱い場合

接続が非常に弱い場合、またはコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、以下の操作を行って他のデバイスからの干渉を最小化します。

- コンピューターを無線ルータまたはアクセス ポイントに近づけます。
- 干渉を受けないようにするために、電子レンジ、コードレス電話、または携帯電話などの無線デバイスの電源を一時的に切断します。

無線ルータに接続できない場合

無線ルータに接続しようとして失敗した場合は、その無線ルータの電源を 10 ～ 15 秒間オフにして、リセットしてください。

それでもコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、無線ルータを再起動してください。詳しくは、ルータの製造元の説明書を参照してください。

ローカル エリア ネットワーク（LAN）への接続

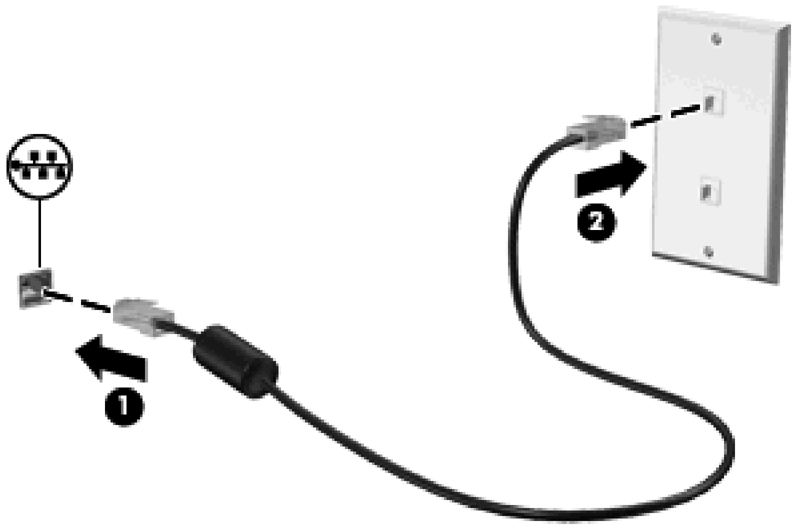
ローカル エリア ネットワーク（LAN）に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブル（別売）が必要です。ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア（**1**）が取り付けられている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端（**2**）をコンピューター側に向けます。



ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

⚠ **警告！** 火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45（ネットワーク）コネクタに接続しないでください。

1. ネットワーク ケーブルをコンピューター本体のネットワーク コネクタに差し込みます（**1**）。
2. ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントに差し込みます（**2**）。



4 ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイスの使用

注記： タッチパッド以外に、外付け USB マウスをコンピューターの USB コネクタのどれかに接続して使用できます。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[デバイスとプリンター]**の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、**[マウス設定]**をクリックします。

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

タッチパッドの使用

ポインターを移動するには、タッチパッドの表面でポインターを移動したい方向に指をスライドさせます。タッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記： タッチパッドを使用してポインターを移動しているとき、指をスクロール ゾーンに移動するには、その前に指をタッチパッドから離す必要があります。タッチパッドからスクロール ゾーンに指をスライドさせるのみでは、スクロール機能はアクティブになりません。

注記： タッチパッドの位置および名称について詳しくは、2 ページの 「タッチパッド」を参照してください。

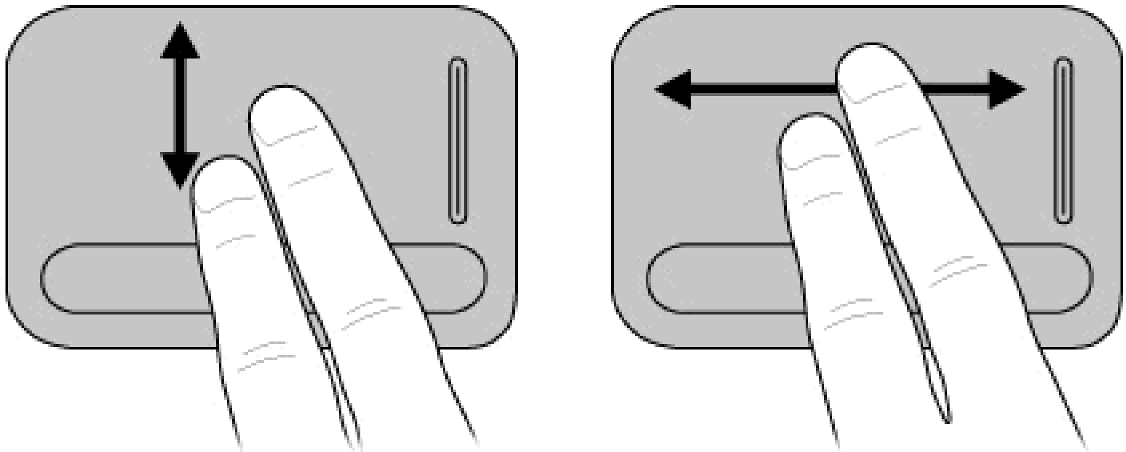
以下の機能は、すべてのソフトウェアで使用できるわけではありません。ソフトウェアで動作する機能は、そのソフトウェアでサポートされている機能のみです。

2 本指スクロール

2 本指スクロールは、ページや画像での上下の移動に便利です。スクロールを行うには、2 本の指をタッチパッド上に置いて、それらの指をタッチパッド上で上下左右に動かします。

注記： スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。

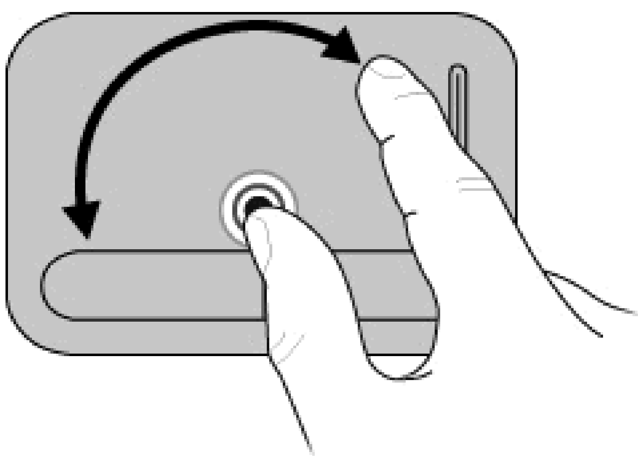
注記： 2 本指スクロールは、出荷時の設定で有効になっています。2 本指スクロールを無効にするには、**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**→**[Multitouch Gestures]**（マルチタッチ ジェスチャー）の順に選択します。次に、無効にする機能の横にあるチェック ボックスのチェックを外します。



回転（一部のモデルのみ）

注記： 一部のモデルのコンピューターでは、回転ジェスチャが出荷時の設定で有効になっています。回転ジェスチャを無効にするには、**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**→**[Multitouch Gestures]**（マルチタッチ ジェスチャー）の順に選択します。次に、無効にする機能の横にあるチェック ボックスのチェックを外します。

回転ジェスチャを使用すると、写真やページなどの項目を回転できます。回転を行うには、親指をタッチパッドに置いて固定し、その親指を中心にして人差し指で半円を描きます。



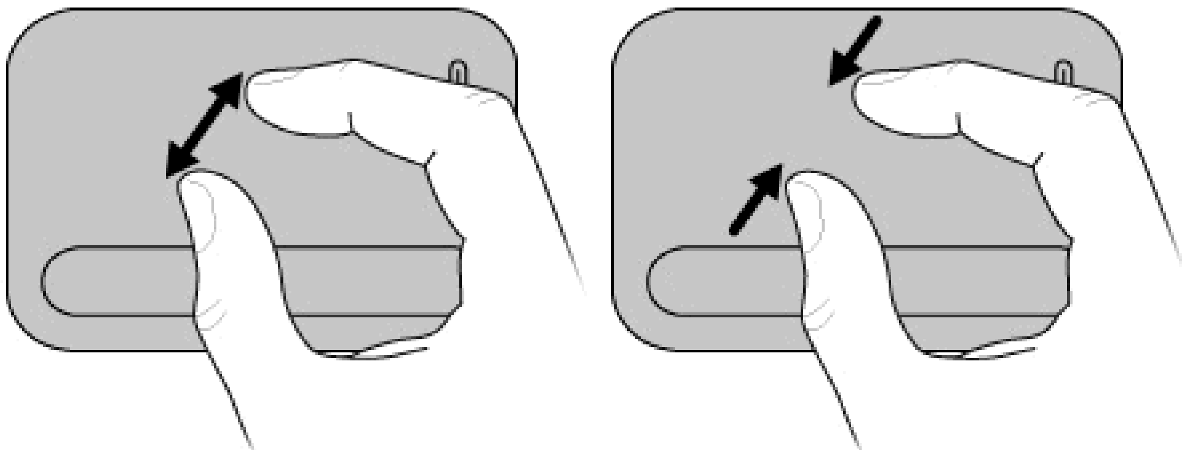
ピンチ（一部のモデルのみ）

注記： 一部のモデルのコンピューターでは、ピンチ ジェスチャが出荷時の設定で有効になっています。ピンチ ジェスチャを無効にするには、**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**→**[Multitouch Gestures]**（マルチタッチ ジェスチャー）の順に選択します。次に、無効にする機能の横にあるチェック ボックスのチェックを外します。

ピンチ ジェスチャを使用すると、PDF、画像、写真などの項目を拡大または縮小できます。

ピンチは以下のように行います。

- タッチパッドで 2 本の指を近付けた状態にして、その 2 本の指の間隔を拡げてオブジェクトのサイズを拡大することで、ズームインできます。
- タッチパッドで 2 本の指を互いに離した状態にして、その 2 本の指の間隔を狭めてオブジェクトのサイズを縮小することで、ズームアウトできます。



注記： お使いのコンピューターでは、他のタッチパッド機能もサポートされています。これらの機能を有効にするには、**[スタート]**→**[デバイスとプリンター]**の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、**[マウス設定]**を選択します。

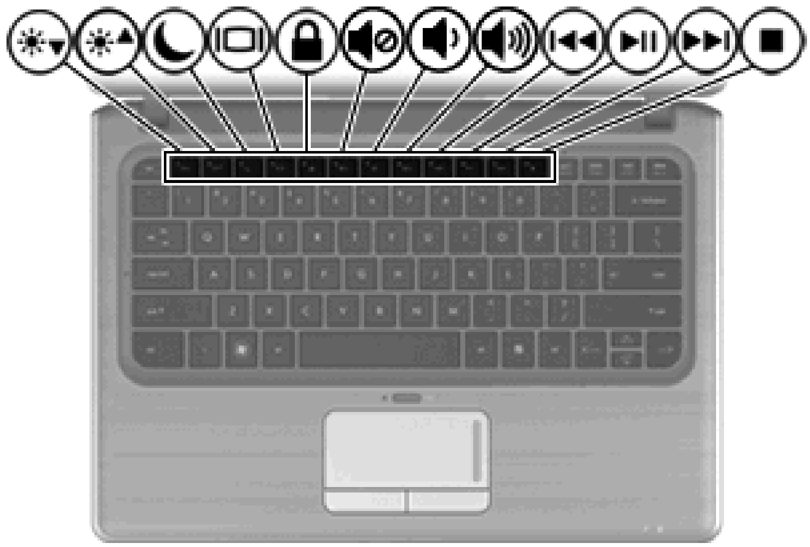
操作キーの使用

操作キーとは、キーボード上部にある特定のキーに割り当てられ、カスタマイズされた動作を行うキーのことです。

操作キーを使用するには、そのキーを押したままにして、キーに割り当てられている機能を有効にします。

注記： 使用中のアプリケーションによっては、fn キーおよびどれかの操作キーを一緒に押すと、そのアプリケーション内で専用のショートカット メニューが表示されます。

注記： 操作キーの機能は、出荷時の設定で有効になっています。この機能は、セットアップ ユーティリティ（BIOS）で無効にできます。また、fn およびどれかの操作キーを一緒に押すと、キーに割り当てられている機能を再び有効にできます。詳しくは、76 ページの「セットアップ ユーティリティ（BIOS）」を参照してください。



キー	アイコン	説明
ディスプレイの輝度を下げるキー		画面の輝度を一定の割合で徐々に下げます
ディスプレイの輝度を上げるキー		画面の輝度を一定の割合で徐々に上げます
スリープ		スリープを開始します
画面を切り替える		システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合に画面の切り替えキーを押すたびに、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式または HDMI を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。表示画面切り替えキーでは、コンピューターからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます
QuickLock		[QuickLock]のセキュリティ機能が起動します
ミュート（消音）		スピーカーの音を消したり元に戻したりします
音量下げ		スピーカーの音量を一定の割合で徐々に下げます
音量上げ		スピーカーの音量を一定の割合で徐々に上げます
前のトラック		CD、DVD、または BD の前のトラックまたはチャプターを再生します

キー	アイコン	説明
再生/一時停止	▶	オーディオ CD、DVD、または BD を再生、一時停止、または再開します
次のトラック	▶▶|	オーディオ CD、DVD、または BD の次のトラックまたはチャプターを再生します
停止	■	オーディオ CD、DVD、または BD を停止します

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（**1**）と、esc キー（**2**）または矢印キーのどれか（**3**）の組み合わせです。



ホットキー	説明
fn ＋ esc	システムのハードウェア コンポーネントやシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます
fn ＋上向き矢印	画面を上にスクロールします
fn ＋下向き矢印	画面を下にスクロールします
fn ＋左向き矢印	ソフトウェアに応じて、以下のどちらかの操作が実行されます ● カーソルがある行の先頭にカーソルが戻ります または ● ドキュメントの先頭に戻ります
fn ＋右向き矢印	ソフトウェアに応じて、以下のどちらかの操作が実行されます ● カーソルが行の末尾に移動します または ● ドキュメントの末尾にスクロールします

ホットキー コマンドを使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

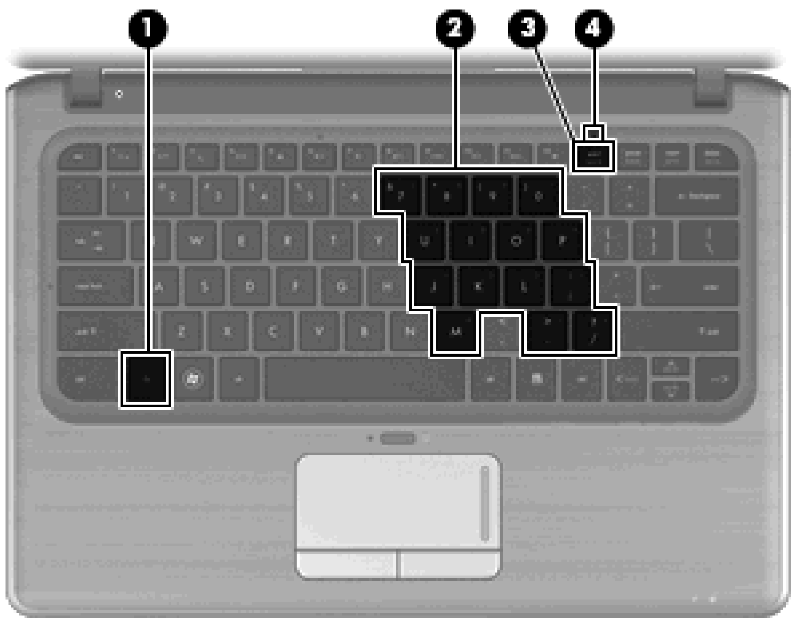
- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  または

- fn キーを押しながら、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

テンキーの使用

お使いのコンピューターには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。



	名称	説明
(1)	fn キー	num lk キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります
(2)	内蔵テンキー	外付けテンキーと同じように使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです
(3)	num lk キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります
(4)	Num Lock ランプ	• 点灯：内蔵テンキーが有効な状態です または • 点灯：接続されている別売のテンキーで Num Lock が有効な状態です

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効のときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、fn ＋ num lk キーを押します。Num Lock ランプが点灯します。fn ＋ num lk キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

注記： 外付けキーボードやテンキーがコンピューターまたは別売のドッキング デバイスか拡張製品に接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは fn ＋ shift キーを使用して、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能とを一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効のときに、テンキーからの入力をテンキー機能（数字等の入力）に変更するには、fn キーを押しながらキーを押します。
- テンキーが有効のときに、テンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押しながら文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn ＋ shift キーを押しながら文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。たとえば、以下のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock をオンにすると、コンピューターの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピューターの Num Lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの Num Lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

▲ コンピューターではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインターが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピューターを使用するときは手をよく洗ってください。

警告！ 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃してください。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

5 マルチメディア

マルチメディア機能

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

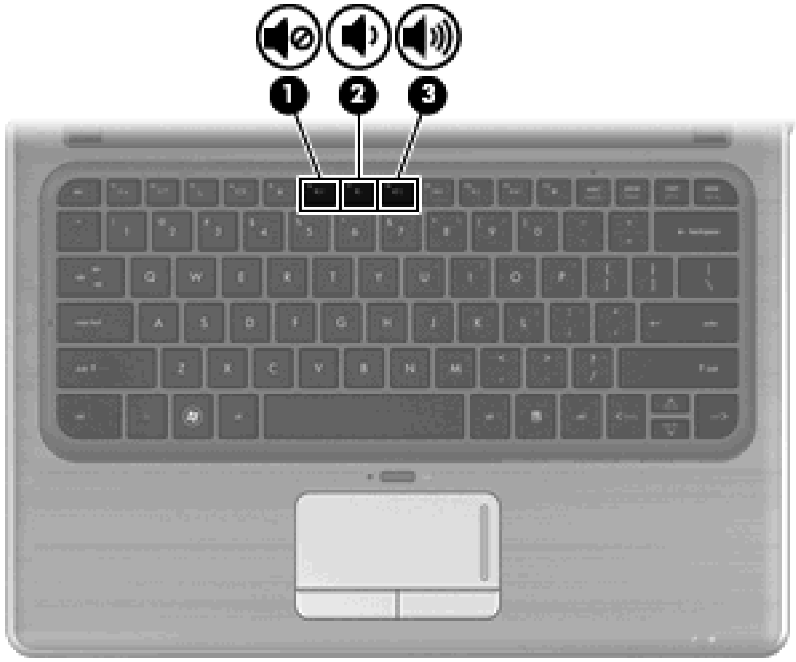
- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生する外付けオプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）
- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 動画を撮影したり共有したりできる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるマルチメディア ボタンとホットキー

ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

音量の調整

音量の調整には、コンピューターの音量キーを使用できます。

- 音を消したり音量を元に戻したりするには、ボリューム ミュート（消音）キー（**1**）を押します。
- 音量を下げるには、音量下げキー（**2**）を押します。
- 音量を上げるには、音量上げキー（**3**）を押します。

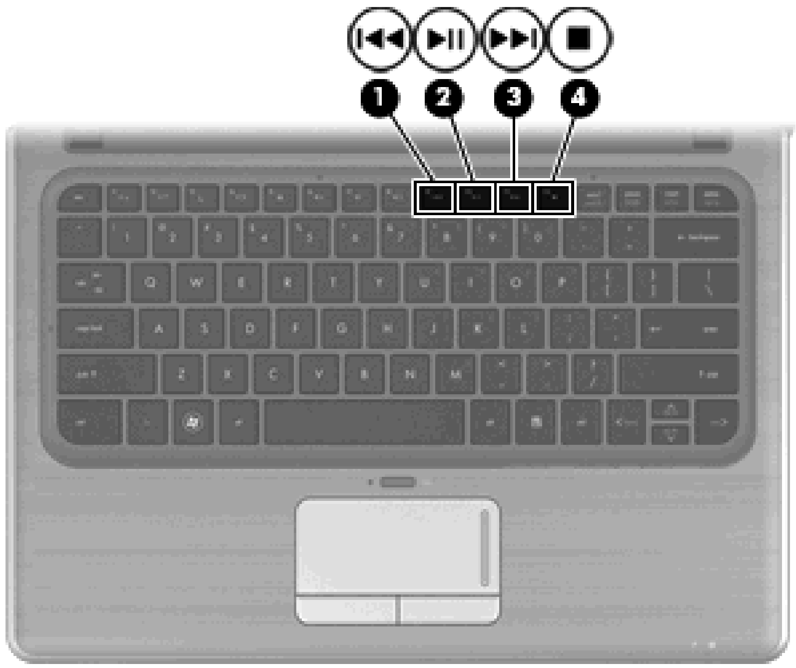


注記： 音量の調整には、Windows オペレーティング システムおよび一部のプログラムを使用することもできます。

メディア操作キーの使用

メディア操作キーは、外付けオプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）内のオーディオ CD、DVD、または BD の再生を調整します。

- オーディオ CD、DVD、または BD が再生中でない場合、再生/一時停止キー（**2**）を押すとディスクが再生されます。
- オーディオ CD、DVD、または BD の再生中は、以下のキーを使用します。
  - オーディオ CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプターを再生するには、前のトラック キー（**1**）を押します。
  - ディスクの再生を一時停止または再開するには、再生/一時停止キー（**2**）を押します。
  - オーディオ CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプターを再生するには、次のトラック キー（**3**）を押します。
  - ディスクを停止するには、停止キー（**4**）を押します。



マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピューターにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。外付けオプティカル ドライブがある場合は（一部のモデルのみ）、ここで説明されている操作に加え、マルチメディアに関する以下の操作をソフトウェアで実行できます。

- オーディオ/ビデオ CD、オーディオ/ビデオ DVD、および BD を含むデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- DVD やビデオ CD でのビデオまたは動画の作成、編集、および書き込み

[HP MediaSmart]ソフトウェアの使用

[HP MediaSmart]によって、お使いのコンピューターが持ち運びのできるエンターテイメント ツールに変わります。[HP MediaSmart]を使用すると、音楽や DVD および BD の動画を楽しむことができます。また、写真コレクションの管理および編集を行うことができます。[HP MediaSmart]は以下の機能を備えています。

- プレイリストのアップロードに対応：
    - [HP MediaSmart]の写真プレイリストは、Snapfish などのインターネット上の写真アルバムにアップロードできます。
    - [HP MediaSmart]のビデオ プレイリストは、YouTube にアップロードできます。
    - [HP MediaSmart]のプレイリストは、[CyberLink DVD Suite]（CyberLink DVD スイート）にエクスポートできます。
- Pandora インターネット ラジオ（北米のみ）：あなただけのために選ばれた音楽を、インターネット経由でストリーミングできます。

[HP MediaSmart]を起動するには、以下の操作を行います。

▲ デスクトップの**[HP MediaSmart]**アイコンをクリックします。

[HP MediaSmart]の使用方法について詳しくは、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択してから、[検索]ボックスに「MediaSmart」と入力します。

マルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアを確認および使用するには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、[Windows Media Player]でオーディオ CD を再生する場合は、**[Windows Media Player]**をクリックします。

> 注記： サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

お使いのコンピューターにはオプティカル ドライブは装備されていませんが、以下のどちらかの方法で、ソフトウェアへのアクセス、ソフトウェアのインストール、およびデータへのアクセスを簡単に行えます。

- 外付けオプティカル ドライブの使用（一部のモデルのみ）を使用する。

> 注記： 外付けオプティカル ドライブは、ハブやドッキング ステーションなど他の外付けデバイスにある USB コネクタではなく、コンピューター本体の USB コネクタに接続する必要があります。外付けオプティカル ドライブについて詳しくは、64 ページの 「外付けドライブの使用」を参照してください。

- ホーム ネットワーク上にある他のコンピューターのオプティカル ドライブを共有する。

> 注記： オプティカル ドライブを共有するには、ホーム ネットワークをセットアップする必要があります。オプティカル ドライブの共有について詳しくは、65 ページの 「オプティカル ドライブの共有」を参照してください。
>
> 注記： DVD ムービーやゲーム ディスクといった種類のディスクはコピーが防止されている場合があります。その場合、DVD または CD を共有して使用することはできません。

オーディオ

お使いのコンピューターでは、以下のようなさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピューターのスピーカーおよび接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続した外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング
- 別売のオプティカル ドライブを使用したオーディオ CD の作成（書き込み）

外付けオーディオ デバイスの接続

> ⚠ 警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオ、ヘッドセット型マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピューターの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピューターの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。

注記： ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピューターのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**の順に選択します。
2. **[ハードウェアとサウンド]**をクリックします。
3. **[サウンド]**をクリックします。
4. [サウンド]ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム イベント]**でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、**[テスト]**ボタンをクリックします。

   スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[サウンド レコーダー]**の順に選択します。
2. **[録音の開始]**をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]または[HP MediaSmart]を開き、サウンドを再生します。

注記： 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[サウンド]**アイコンの順に選択します。

動画

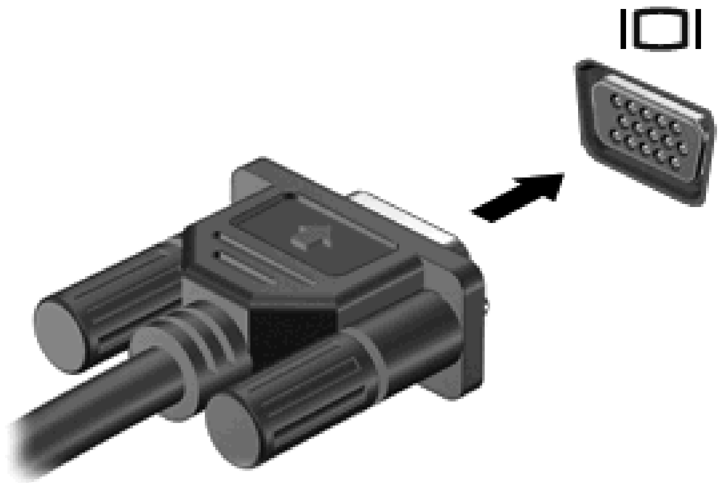
お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- 画像や動画の編集およびプレゼンテーションの作成
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニターまたはプロジェクターの接続

外付けモニター コネクタは、外付けモニターやプロジェクターなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピューターに接続するためのコネクタです。

▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニター コネクタに接続します。



注記： 正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、画面の切り替えキーを押して画像をデバイスに転送します。画面の切り替えキーを繰り返し押すと、表示画面がコンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

HDMI デバイスの接続

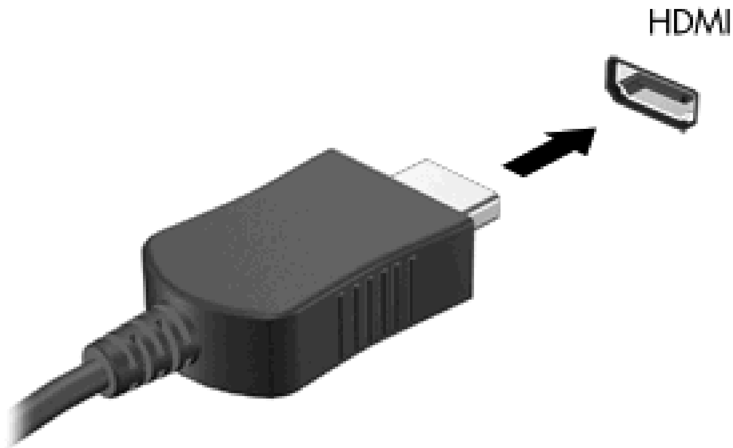
コンピューターには、HDMI（High Definition Multimedia Interface）コネクタが搭載されています。HDMI コネクタは、HD 対応テレビ、対応しているデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどの別売の動画またはオーディオ デバイスとコンピューターを接続するためのコネクタです。

注記： HDMI コネクタを使用して動画信号を伝送するには、HDMI ケーブル（別売）が必要です。

コンピューターは、HDMI コネクタに接続されている 1 つの HDMI デバイスをサポートすると同時に、コンピューター本体のディスプレイまたはサポートされている他の外付けディスプレイの画面をサポートできます。

HDMI コネクタに動画またはオーディオ デバイスを接続するには、以下の操作を行います。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI コネクタに接続します。



2. 製造元の説明書等の手順に沿って操作し、ケーブルのもう一方の端をビデオ デバイスに接続します。
3. コンピューターに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、コンピューターの画面の切り替えキーを押します。

HDMI 用のオーディオの設定（一部のモデルのみ）

HDMI オーディオを設定するには、まず、お使いのコンピューターの HDMI コネクタに HD 対応テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスを接続します。次に、以下の手順でオーディオ再生の初期デバイスを設定します。

1. タスクバーの右端の通知領域にある**[スピーカー]**アイコンを右クリックし、**[再生デバイス]**をクリックします。
2. **[再生]**タブで**[デジタル出力]**または**[デジタル出力デバイス (HDMI)]**をクリックします。
3. **[既定値に設定]**→**[OK]**の順にクリックします。

オーディオをコンピューターのスピーカーに戻すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある**[スピーカー]**アイコンを右クリックし、**[再生デバイス]**をクリックします。
2. **[再生]**タブで**[スピーカー]**をクリックします。
3. **[既定値に設定]**→**[OK]**の順にクリックします。

Web カメラ

お使いのコンピューターには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラは、動画の取り込みと共有を可能にする入力デバイスです。

Web カメラを使用するには、デスクトップの**[HP MediaSmart]**アイコンをクリックし、[HP MediaSmart]の[SmartMenu]から該当するアイコンを選択して**[Webcam]**をクリックします。

注記： [HP MediaSmart]の使用方法について詳しくは、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順にクリックしてから、[検索]ボックスに「MediaSmart」と入力します。

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラを使用するときには以下のガイドラインを参考にしてください。

- マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザーへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。
- 可能な限り、カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

Web カメラ使用上の注意

パフォーマンスを最適にするために、内蔵 Web カメラの使用時は以下のガイドラインを参考にしてください。

- ビデオ チャットを行う前に、インスタント メッセージ プログラムが最新のバージョンであることを確認してください。
- お使いのネットワーク ファイアウォールによっては、内蔵 Web カメラが正しく動作しない場合があります。動画を閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザーへ動画を送信したりするときに問題が生じる場合は、インターネット サービス プロバイダーに問い合わせてください。
- 可能な限り、Web カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

Web カメラのプロパティの調整

[プロパティ]ダイアログ ボックスを使用して、Web カメラのプロパティを調整できます。通常このダイアログ ボックスには、内蔵カメラを使用する各種プログラムの構成、設定、またはプロパティ メニューからアクセスできます。

- [輝度]：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定するとより明るい画像になり、輝度を低く設定するとより暗い画像になります。
- [コントラスト]：画像の明るさと暗さの対比を調整します。コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、元の情報のダイナミック レンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- [色相]：他の色との特性の差異（赤、緑、青の度合い）を調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- [色彩]：最終的な画像の色みの強さを調整します。色彩を高く設定するとより鮮やかな画像になり、色彩を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- [シャープネス]：画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとより鮮明な画像になり、シャープネスを低く設定するとソフトな画像になります。
- [ガンマ]：画像の中間調の灰色または中間色に作用する対比を調整します。画像のガンマを調整すると、シャドウとハイライトを大幅に変更しないで、中間グレー トーンの明度値を変更できます。ガンマを低く設定すると灰色は黒に近くなり、暗い色はさらに暗い色になります。
- [バックライト補正]：バックライトの明るさを調整します。（バックライトが明るすぎて対象物が輪郭のみになるなど、画像が極端にぼやけてしまう場合に使用します。）

Web カメラの使用方法については、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

6　電源の管理

電源デバイスの設定

省電力設定の使用

お使いのコンピューターでは、2 つの省電力設定が出荷時に有効になっています。スリープおよびハイバネーションです。

スリープを開始すると、電源ランプが点滅し、画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されるため、バッテリが節電され、スリープを終了するときはハイバネーションを終了するときよりも早く作業に戻れます。コンピューターがスリープ状態のときは電源ランプが点滅します。コンピューターが長時間スリープ状態になった場合、またはスリープ状態のときにバッテリが完全なロー バッテリ状態になった場合は、ハイバネーションを開始します。

△ **注意：**　オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディア カードの読み取りまたは書き込み中にスリープやハイバネーションを開始しないでください。

注記：　コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、無線接続やコンピューターの機能を実行することが一切できなくなります。

スリープの開始および終了

システムは、バッテリ電源の使用時に操作しない状態が 15 分続いた場合、または外部電源の使用時に操作しない状態が 30 分続いた場合にスリープを開始するよう出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。

コンピューターの電源がオンの場合、以下のどれかの方法でスリープを開始します。

- スリープ キーを押します。
- 電源スイッチを短くスライドさせます。
- ディスプレイを閉じます。
- **[スタート]**→**[電源]**ボタンの順に選択します。
- **[スタート]**→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→**[スリープ]**の順にクリックします。

スリープ状態を終了するには、以下のどれかの操作を行います。

- 電源スイッチを短くスライドさせます。
- ディスプレイが閉じている場合は、ディスプレイを開きます。
- キーボードのキーを押します。
- タッチパッドを操作します。

コンピューターがスリープを終了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わり、作業を中断した時点の画面に戻ります。

注記：　復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションの開始および終了

システムは、バッテリ電源の使用時に操作しない状態が 1080 分（18 時間）続いた場合、外部電源の使用時に操作しない状態が 1080 分（18 時間）続いた場合、または完全なロー バッテリ状態に達した場合に、ハイバネーションを開始するように出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル]にある[電源オプション]で変更できます。

ハイバネーションを開始するには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]**→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→**[休止状態]**の順にクリックします。

ハイバネーションを終了するには、以下の操作を行います。

▲ 電源スイッチを短くスライドさせます。

電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

注記： 復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

バッテリ メーターの使用

バッテリ メーターはタスクバーの右端の通知領域にあります。バッテリ メーターを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリ充電残量を表示したり、別の電源プランを選択したりできます。

- 充電残量率と現在の電源プランを表示するには、ポインターを[バッテリ メーター]アイコンの上に移動します。
- 電源オプションにアクセスしたり、電源プランを変更したりするには、[バッテリ メーター]アイコンをクリックして一覧から項目を選択します。

コンピューターがバッテリ電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[バッテリ メーター]アイコンの形の違いで判断できます。アイコンには、バッテリがロー バッテリ状態、完全なロー バッテリ状態、または省電源移行バッテリ レベルになった場合にそのメッセージも表示されます。

[バッテリ メーター]アイコンを表示または非表示にするには、以下の操作を行います。

1. **[隠れているインジケーターを表示します]**アイコン（通知領域の左側にある矢印）を右クリックします。
2. **[通知アイコンのカスタマイズ]**をクリックします。
3. **[動作]**で、[電源]アイコンの**[アイコンと通知を表示]**をクリックします。
4. **[OK]**をクリックします。

電源プランの使用

電源プランは、コンピューターの電源の使用方法を管理するためのシステム設定の集合です。電源プランによって、電力を節約し、パフォーマンスを最大限に向上させることができます。

電源プランの設定を変更したり、独自の電源プランを作成したりできます。

現在の電源プランの表示

▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリ メーター]アイコンをクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。

異なる電源プランの選択

▲ 通知領域にある[バッテリ メーター]アイコンをクリックし、一覧から電源プランを選択します。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択して、一覧から電源プランを選択します。

電源プランのカスタマイズ

1. 通知領域の[バッテリ メーター]アイコンをクリックし、**[その他の電源オプション]**をクリックします。

   または

   [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。

2. 電源プランを選択し、**[プラン設定の変更]**をクリックします。
3. 設定を変更します。
4. その他の設定を変更するには、**[詳細な電源設定の変更]**をクリックし、変更を行います。

復帰時のパスワード保護の設定

スリープまたはハイバネーション状態が終了したときにパスワードの入力を求めるようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[スリープ解除時のパスワード保護]**をクリックします。
3. **[現在利用可能ではない設定を変更します]**をクリックします。
4. **[パスワードを必要とする (推奨)]**をクリックします。

   注記： ユーザー アカウントを作成するか、現在のユーザー アカウントを変更する場合は、**[ユーザー アカウント パスワードの作成または変更]**をクリックしてから、画面に表示される説明に沿って操作します。ユーザー アカウント パスワードを作成または変更する必要がない場合は、手順 5 に進んでください。

5. **[変更の保存]**をクリックします。

外部電源の使用

外部電源は、付属の AC アダプターを通じてコンピューターに供給されます。

⚠ 警告！ 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターのみを使用してください。

以下のどれかの条件にあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

⚠ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリを充電しないでください。

- バッテリ充電するか、バッテリ ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- CD または DVD に情報を書き込む場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリの充電が開始されます。
- コンピューターの電源が入ると、通知領域にある[バッテリ メーター]アイコンの表示が変わります。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリに切り替わります。
- バッテリ電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、f2 キーを押すか、AC アダプターを接続しなおします。

外部電源の接続

⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

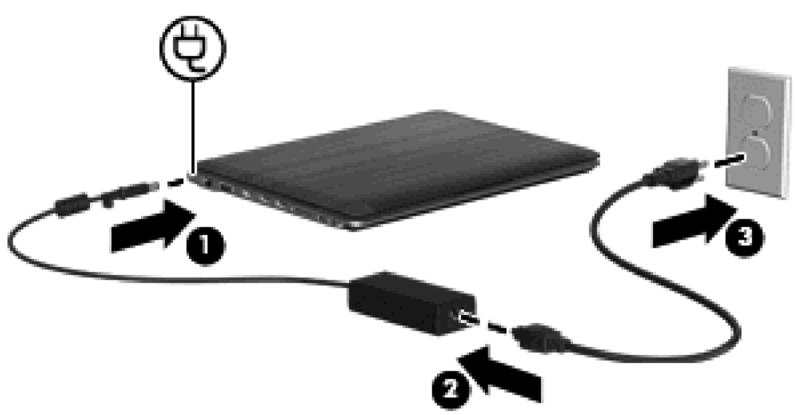
電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをコンピューターからではなくコンセントから抜いてください。

安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。2 ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。

コンピューターを外部電源に接続するには、以下の操作を行います。

1. アダプターをコンピューターの電源コネクタに差し込みます（**1**）。
2. 電源コードをアダプターに差し込みます（**2**）。
3. 電源コードのもう一方の端を電源コンセントに差し込みます（**3**）。



AC アダプターのテスト

外部電源に接続したときにコンピューターに以下の状況のどれかが見られる場合は、AC アダプターをテストします。

- コンピューターの電源が入らない。
- ディスプレイの電源が入らない。
- 電源ランプが点灯しない。

AC アダプターをテストするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターからバッテリを取り外します。
2. AC アダプターをコンピューターに接続し、電源コードを AC アダプターに差し込んでから、電源コードを電源コンセントに差し込みます。
3. コンピューターの電源を入れます。
   - 電源ランプが**点灯している**場合は、AC アダプターは正常に動作しています。
   - 電源ランプが**消灯したままになっている**場合は、AC アダプターが動作していないため交換する必要があります。

交換用 AC アダプターを入手する方法については、サポート窓口にお問い合わせください。アクセスするには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[サポート情報の入手]**の順に選択します。

バッテリ電源の使用

充電済みのバッテリが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリ電源で動作します。外部電源に接続されている場合、コンピューターは外部電源で動作します。

充電済みのバッテリを装着したコンピューターが AC アダプターから電力が供給される外部電源で動作している場合、AC アダプターを取り外すと、電源がバッテリ電源に切り替わります。

注記： 外部電源の接続を外すと、バッテリ電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、輝度上げキーを使用するか、AC アダプターを接続しなおします。

作業環境に応じて、バッテリをコンピューターに装着しておくことも、ケースに保管しておくことも可能です。コンピューターを外部電源に接続している間、常にバッテリを装着しておけば、バッテリは充電されていて、停電した場合でも作業データを守ることができます。ただし、バッテリをコンピューターに装着したままにしておくと、コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリは徐々に放電していきます。

警告！ 安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリ、HP が提供する交換用バッテリ、または HP から購入した対応するバッテリを使用してください。

[ヘルプとサポート]でのバッテリ情報の確認

[ヘルプとサポート]では、バッテリに関する以下のツールと情報が提供されます。

- バッテリの性能をテストするための[HP バッテリ チェック]ツール
- バッテリの寿命を延ばすための、バッテリ ゲージの調整、電源管理、および適切な取り扱いと保管に関する情報
- バッテリの種類、仕様、ライフ サイクル、および容量に関する情報

[バッテリ情報]にアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[詳細]→[電源プラン：よくある質問]**の順に選択します。

[HP バッテリ チェック]の使用

[ヘルプとサポート]では、コンピューターに取り付けられているバッテリの状態について情報を提供します。

[HP バッテリ チェック]を実行するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターに接続します。

   注記：　[HP バッテリ チェック]を正常に動作させるため、コンピューターを外部電源に接続しておく必要があります。

2. **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[トラブルシューティング]→[電源、サーマル、および機械]**の順に選択します。

3. **[電源]**タブをクリックし、**[HP バッテリ チェック]**をクリックします。

[HP バッテリ チェック]は、バッテリとそのセルを検査して、バッテリとそのセルが正常に機能しているかどうかを確認し、検査の結果を表示します。

バッテリ充電残量の表示

▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリ メーター]アイコンの上にポインターを移動します。

バッテリの着脱

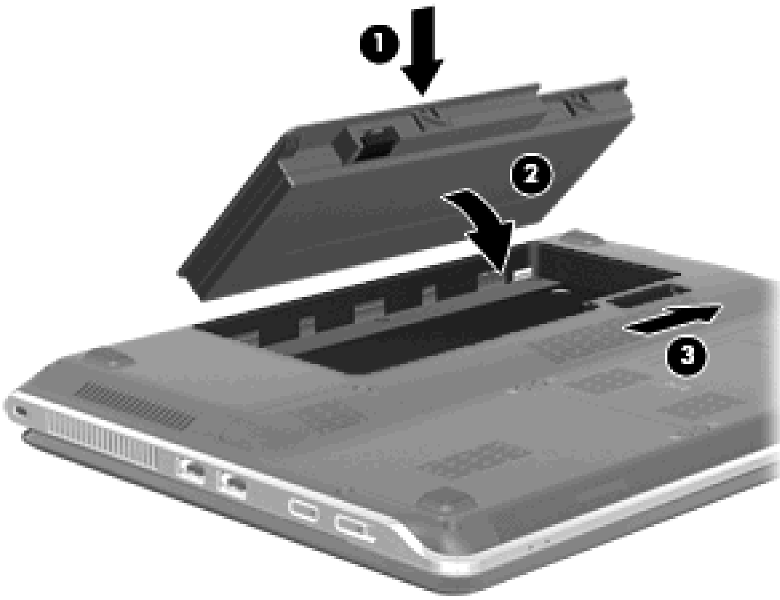
△ 注意：　コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにそのバッテリを取り外すと、情報を損失する可能性があります。バッテリを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを開始するか Windows の通常の手順でコンピューターの電源を切っておいてください。

バッテリを装着するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。

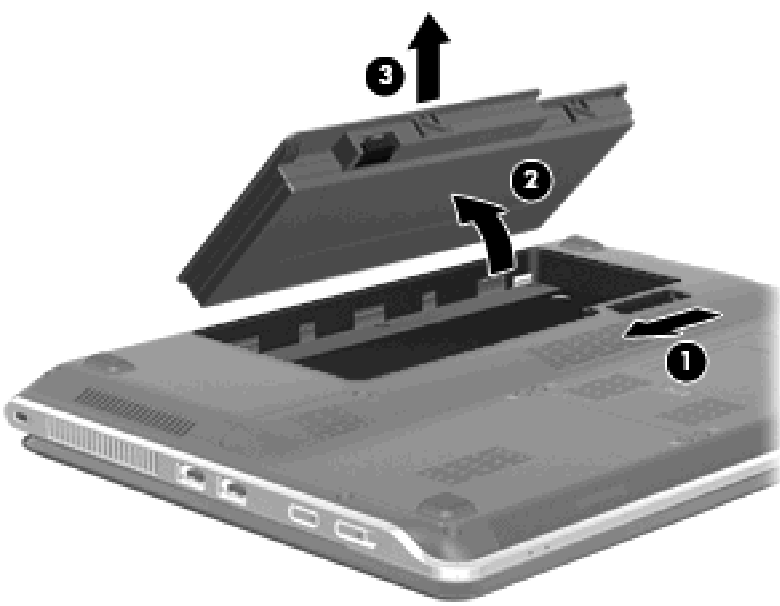
2. バッテリをバッテリ ベイに挿入し（**1**）、下向きに回転させます（**2**）。カチッと音がするまでバッテリを押し込みます。

3. バッテリ リリース ラッチをスライドさせて（**3**）バッテリを固定します。



バッテリを取り外すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリ リリース ラッチをスライドさせ（**1**）、バッテリを上向きに回転させます（**2**）。
3. バッテリを取り外します（**3**）。



バッテリの充電

⚠ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリを充電しないでください。

バッテリは、コンピューターが外部電源（AC アダプター経由）または別売の電源アダプターに接続している間、常に充電されます。

バッテリは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリの寿命を延ばし、バッテリ残量が正確に表示されるようにするには、以下の点に注意してください。

- 新しいバッテリを充電する場合は、コンピューターの電源を入れる前にバッテリを完全に充電してください。
- バッテリ ランプが消灯するまでバッテリを充電してください。

注記： コンピューターの電源が入っている状態でバッテリを充電すると、バッテリが完全に充電される前に通知領域のバッテリ メーターに 100%と表示される場合があります。

- 通常の使用で完全充電時の 5%未満になるまでバッテリを放電してから充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリは、単に充電を行うのではなく、バッテリ ゲージの調整を行います。

コンピューターのバッテリ ランプには、以下のように充電状態が表示されます。

- 点灯：バッテリが充電中です。
- 点滅：バッテリがロー バッテリ状態か完全なロー バッテリ状態になっていて、充電されていません。
- 消灯：バッテリの充電が完了しているか、バッテリを使用中か、バッテリが装着されていない状態です。

バッテリの放電時間の最長化

バッテリの放電時間は、バッテリ電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリの容量は自然に低下するため、バッテリの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリの放電時間を長く保つには、以下の点に注意してください。

- ディスプレイの輝度を下げます。
- [電源オプション]の**[省電力]**設定を確認します。
- バッテリが使用されていないときまたは充電されていないときは、コンピューターからバッテリを取り外します。
- バッテリを気温や湿度の低い場所に保管します。

ロー バッテリ状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリ状態の警告とシステム応答の設定は、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]を使用した設定は、ランプの状態には影響しません。

ロー バッテリ状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにバッテリがロー バッテリ状態になると、バッテリ ランプが点滅します。

ロー バッテリ状態を解決しないと完全なロー バッテリ状態に入り、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます。

完全なロー バッテリの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- ハイバネーションが有効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、ハイバネーションが開始します。
- ハイバネーションが無効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、短い時間スリープ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ロー バッテリ状態の解決

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、コンピューターが完全なロー バッテリ状態になってハイバネーションが開始した場合は、電源ランプが消灯するまで電源を入れないでください。

外部電源を使用できる場合のロー バッテリ状態の解決

▲ 以下のデバイスのどれかを接続します。

- AC アダプター
- 別売の拡張製品またはドッキング デバイス
- 別売の電源アダプター

充電済みのバッテリを使用できる場合のロー バッテリ状態の解決

1. コンピューターの電源を切るか、ハイバネーションを開始します。
2. 放電したバッテリを取り外し、充電済みのバッテリを装着します。
3. コンピューターの電源を入れます。

電源を使用できない場合のロー バッテリ状態の解決

▲ ハイバネーションを開始します。

または

作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリ状態の解決

ハイバネーションを終了するための十分な電力がコンピューターに残っていない場合は、以下の操作を行います。

1. 充電済みのバッテリを装着するか、コンピューターを外部電源に接続します。
2. 電源スイッチを短くスライドさせてハイバネーションを終了します。

バッテリ ゲージの調整

バッテリ ゲージの調整は、以下の場合に必要です。

- バッテリ充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリの通常の動作時間が極端に変化した場合

バッテリを頻繁に使用している場合でも、1 か月に 2 回以上バッテリ ゲージを調整する必要はありません。また、新しいバッテリを初めて使用する前にバッテリ ゲージを調整する必要はありません。

手順 1：バッテリを完全に充電する

⚠ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリを充電しないでください。

注記： バッテリは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリを完全に充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターにバッテリを装着します。
2. コンピューターを AC アダプター、別売の電源アダプター、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続し、そのアダプターまたはデバイスを外部電源に接続します。

   コンピューターのバッテリ ランプが点灯します。
3. バッテリが完全に充電されるまで、コンピューターを外部電源に接続しておきます。

   充電が完了すると、コンピューターのバッテリ ランプが消灯します。

手順 2：ハイバネーションおよびスリープを無効にする

1. 通知領域にある[バッテリ メーター]アイコン→**[その他の電源オプション]**の順にクリックします。

   または

   [スタート]→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[電源オプション]**の順に選択します。
2. 現在の電源プランのもとで、**[プラン設定の変更]**をクリックします。
3. バッテリ ゲージの調整後に設定を元に戻せるように、**[バッテリ駆動]**列の**[ディスプレイの電源を切る]**の設定を記録しておきます。
4. **[ディスプレイの電源を切る]**の設定を**[しない]**に変更します。
5. **[詳細な電源設定の変更]**をクリックします。
6. **[スリープ]**の横のプラス記号（＋）→**[次の時間が経過後休止状態にする]**の横のプラス記号の順にクリックします。
7. バッテリ ゲージの調整後に設定を元に戻せるように、**[次の時間が経過後休止状態にする]**の下の**[バッテリ駆動]**の設定を記録しておきます。
8. **[バッテリ駆動]**の設定を**[なし]**に変更します。
9. **[OK]**をクリックします。
10. **[変更の保存]**をクリックします。

手順 3：バッテリを放電する

バッテリの放電中は、コンピューターの電源を入れたままにしておく必要があります。バッテリは、コンピューターを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が早く放電が完了します。

- 放電中にコンピューターを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 放電中にコンピューターを使用する予定で、省電力設定を利用している場合、放電処理中はシステムの動作が以下のようになります。
  - モニターが自動的にオフになりません。
  - コンピューターがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度は自動的に低下しません。
  - システムによるハイバネーションは開始されません。

バッテリを放電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源から切り離します。ただし、コンピューターの電源は切らないでください。
2. バッテリが放電するまで、バッテリ電源でコンピューターを動作させます。バッテリの放電が進んでロー バッテリ状態になると、バッテリ ランプが点滅し始めます。バッテリが放電すると、バッテリ ランプが消灯して、コンピューターの電源が切れます。

手順 4：バッテリを完全に再充電する

バッテリを再充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続して、バッテリが完全に再充電されるまで接続したままにします。再充電が完了すると、コンピューターのバッテリ ランプが消灯します。

   バッテリの再充電中でもコンピューターは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。

2. コンピューターの電源を切っていた場合は、バッテリが完全に充電されてバッテリ ランプが消灯した後で、コンピューターの電源を入れます。

手順 5：ハイバネーションおよびスリープを再び有効にする

△ **注意：** バッテリ ゲージの調整後にハイバネーションを有効にしないと、コンピューターが完全なロー バッテリ状態になった場合、バッテリが完全に放電して情報が失われるおそれがあります。

1. 通知領域の[バッテリ メーター]アイコン→**[その他の電源オプション]**の順にクリックします。

   または

   [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。

2. 現在の電源プランのもとで、**[プラン設定の変更]**をクリックします。
3. **[バッテリ駆動]**列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
4. **[詳細な電源設定の変更]**をクリックします。
5. **[スリープ]**の横のプラス記号（＋）→**[次の時間が経過後休止状態にする]**の横のプラス記号の順にクリックします。
6. **[バッテリ駆動]**列を、記録しておいた設定に戻します。
7. **[OK]**をクリックします。
8. **[変更の保存]**をクリックします。

バッテリの節電

- Windows の[コントロール パネル]で、**[システムとセキュリティ]**の[電源オプション]から[省電力]電源プランを選択します。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続とローカル エリア ネットワーク（LAN）接続をオフにして、モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り外します。
- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、f1 キーまたは f2 キーを使用します。
- しばらく作業を行わないときは、スリープまたはハイバネーションを開始するか、コンピューターの電源を切ります。

バッテリの保管

△ **注意：** 故障の原因となりますので、バッテリを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2 週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリを取り出して別々に保管してください。

保管中のバッテリの放電を抑えるには、バッテリを気温や湿度の低い場所に保管してください。

1 か月以上保管したバッテリを使用するときは、最初にバッテリ ゲージの調整を行ってください。

使用済みのバッテリの処理

⚠ **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、接点をショートさせたり、火や水の中に捨てたりしないでください。

バッテリの交換

コンピューターのバッテリは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

[HP バッテリ チェック]は、内部セルが正常に充電されていないときや、バッテリ容量が「ロー バッテリ」の状態になったときに、バッテリを交換するようユーザーに通知します。交換用バッテリの購入について詳しくは、メッセージに記載されている HP の Web サイトを参照してください。バッテリが HP の保証対象となっている場合は、説明書に保証 ID が記載されています。

注記： 必要なときにバッテリ切れを起こさないようにするため、充電残量のインジケーターが緑がかった黄色になったら新しいバッテリを購入することをおすすめします。

コンピューターのシャットダウン

△ **注意：** コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合は、コンピューターをシャットダウンします。

- バッテリを交換したりコンピューター内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB コネクタ以外のコネクタに外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切断する場合

電源スイッチでコンピューターをシャットダウンすることもできますが、Windows の[シャットダウン]コマンドを使用した手順をおすすめします。

コンピューターをシャットダウンするには、以下の操作を行います。

注記： コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、シャットダウンをする前にスリープまたはハイバネーションを終了する必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. **[スタート]**をクリックします。
3. **[シャットダウン]**をクリックします。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急シャットダウン操作を順番に行ってみてください。

- ctrl ＋ alt ＋ delete キーを押し、電源スイッチをスライドさせます。
- 電源スイッチを 5 秒程度スライドさせたままにします。
- コンピューターを外部電源から切断し、バッテリを取り外します。

7 メモリ モジュール

コンピューターの裏面には、1 つのメモリ モジュール コンパートメントが装備されています。コンピューターのメモリを増設するには、装着されているメモリ モジュールを交換します。

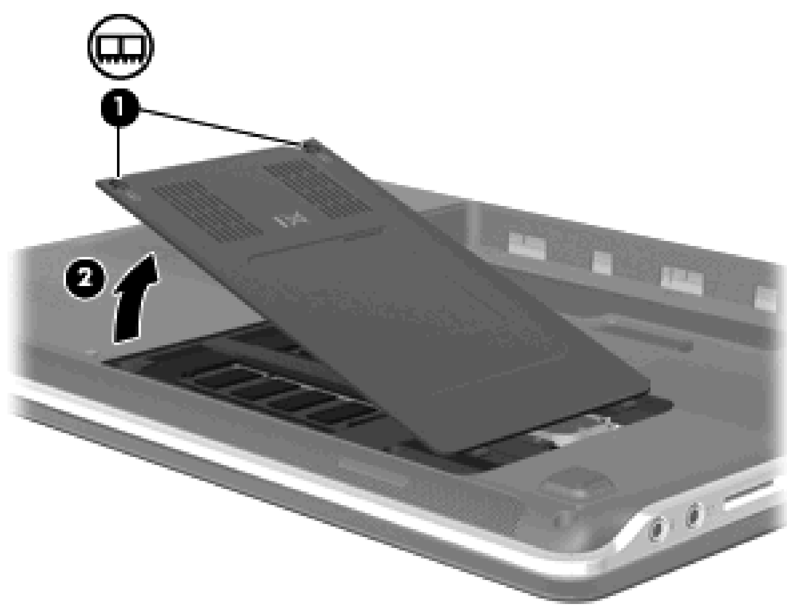
⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。

△ **注意：** 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前にアースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。

   コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリを取り外します。
7. メモリ モジュール コンパートメントの 2 つのネジ（**1**）を緩めます。
8. メモリ モジュール コンパートメント カバーを持ち上げて（**2**）コンピューターから取り外します。



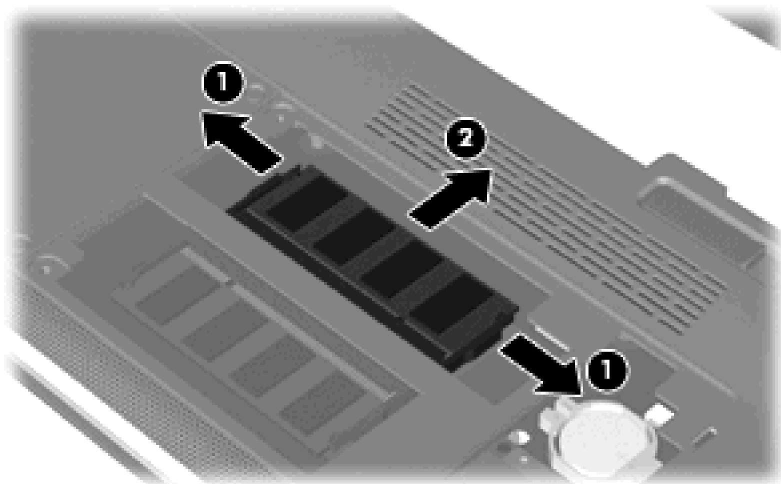
9. メモリ モジュールを交換する場合は、装着されているメモリ モジュールを取り外します。

a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります（**1**）。

メモリ モジュールが少し上に出てきます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて（**2**）取り外します。



取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

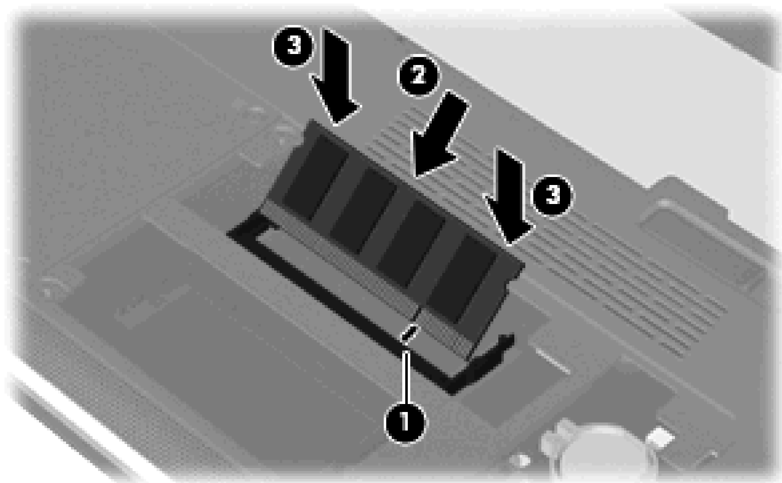
10. 以下の手順に沿って、メモリ モジュールを取り付けます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

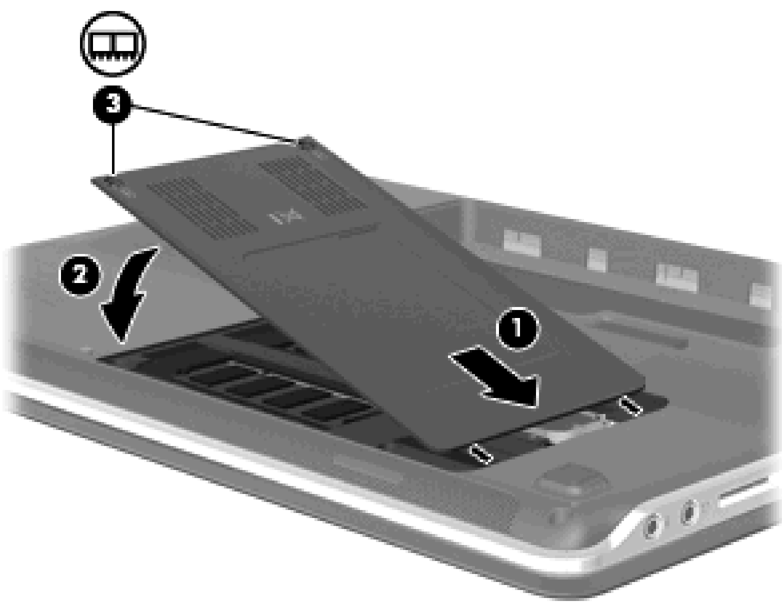
a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット（**1**）を合わせます。

b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます（**2**）。

c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます（**3**）。



11. メモリ モジュール コンパートメント カバーのタブとコンピューターの切り込みを合わせて（**1**）、カバーを閉じます（**2**）。
12. メモリ モジュール コンパートメントの 2 つのネジ（**3**）を締めます。



13. バッテリを取り付けなおします。
14. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
15. コンピューターの電源を入れます。

8　ドライブと外付けデバイス

ドライブ

取り付けられているドライブの確認

お使いのコンピューターには、（回転式ディスクを搭載した）ハードドライブまたはソリッドステート メモリを搭載した SSD（Solid State Drive）が搭載されています。SSD は、駆動部品を持たないため、ハードドライブほど熱を発生しません。

コンピューターに取り付けられているドライブを表示するには、**[スタート]→[コンピューター]**の順に選択します。

注記：　Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピューター部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピューターをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピューターのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターの電源を切ります。コンピューターの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前にバッテリが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用

コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク デフラグを実行するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]**の順に選択します。
2. **[今すぐ最適化]**をクリックします。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ツール ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[システム ツール]**→**[ディスク クリーンアップ]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

ハードドライブ ベイ内のハードドライブの交換

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

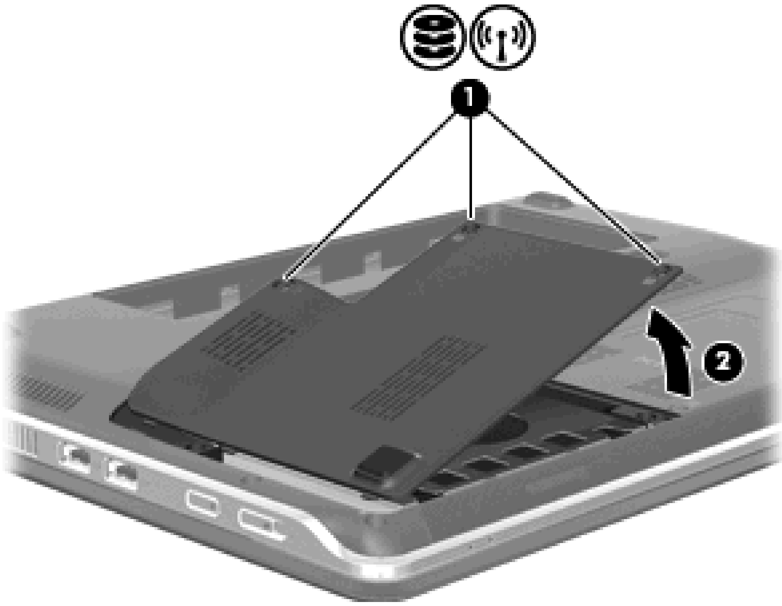
ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリを取り外します。
7. ハードドライブ ベイが手前になるように置き、ハードドライブ カバーの 3 つのネジ（**1**）を緩めます。

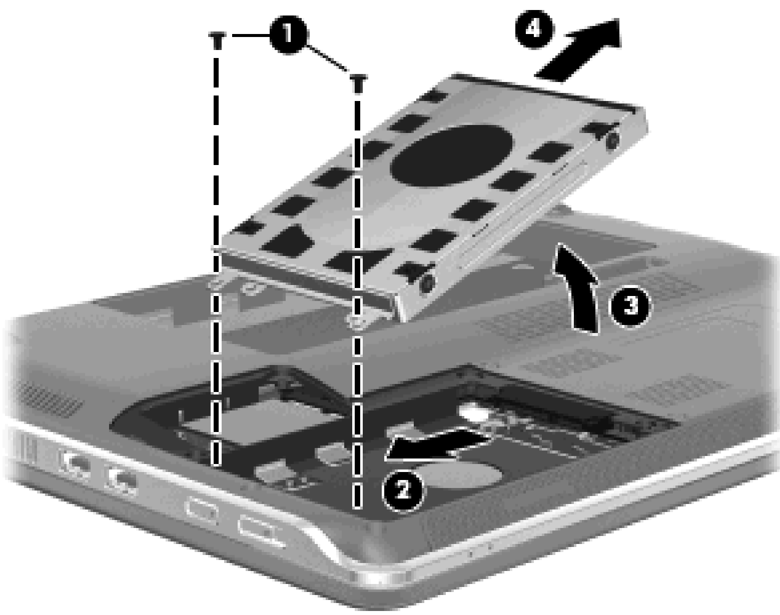
8. ハードドライブ カバーを持ち上げて（**2**）、コンピューターから取り外します。



9. ハードドライブをコンピューターに固定している 2 つのネジ（**1**）を緩めます。

10. ハードドライブを左方向にスライドさせて（**2**）、ハードドライブの固定を解除します。

11. ハードドライブを上向きに回転させるようにして（**3**）、ハードドライブ ベイから取り出します（**4**）。

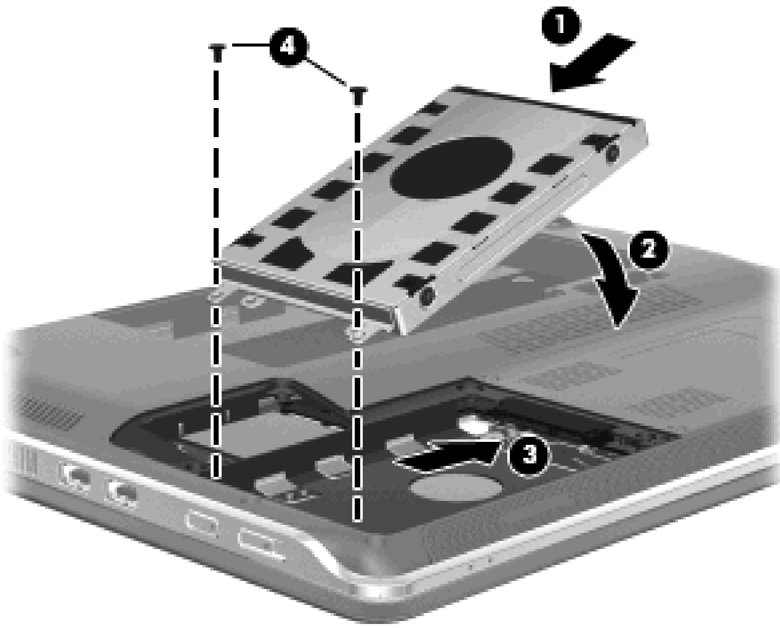


ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

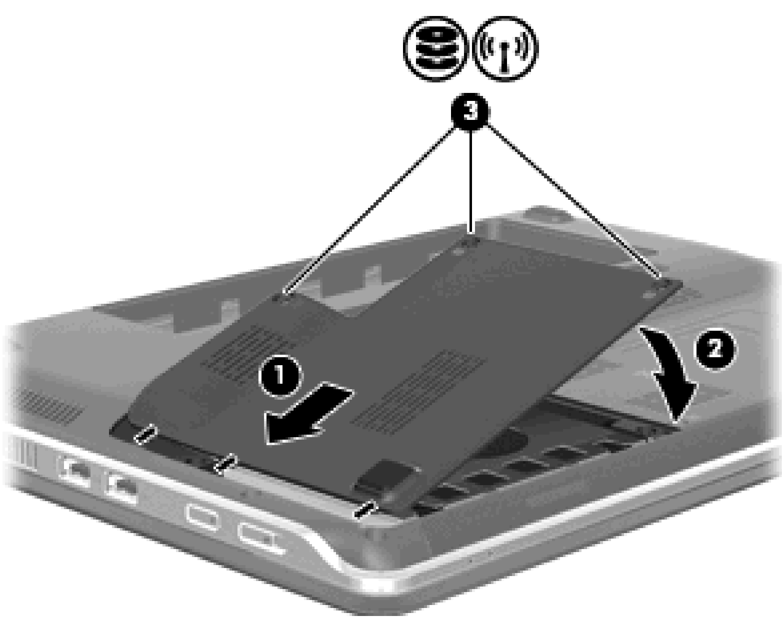
1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します（**1**）。

2. ハードドライブを回転させるようにして下げ（**2**）、右方向にスライドさせて（**3**）、所定の位置に固定します。

3. ハードドライブをコンピューターに固定している 2 つのネジ（**4**）を締めます。



4. ハードドライブ カバーのタブ（**1**）を、コンピューターのくぼみに合わせます。
5. メモリ モジュール コンパートメント カバーを閉じます（**2**）。
6. ハードドライブ カバーの 3 つのネジ（**3**）を締めます。



[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用（一部のモデルのみ）

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]は、以下のどちらかの場合にドライブを一時停止し、データ要求を中止することによって、ハードドライブを保護するシステムです。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合
- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合

これらのどれかが発生して終了すると間もなく、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]はハードドライブを通常動作に戻します。

注記： SSD（Solid State Drive）には駆動部品がないため、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]による保護は必要ありません。

注記： USB コネクタに接続されているハードドライブは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]では保護されません。

詳しくは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認

コンピューターのドライブ ランプがオレンジ色に点灯し、ドライブが停止していることを示します。ドライブが現在保護されているか、または停止しているかを確認するには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Windows モビリティ センター]**の順に選択します。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェック マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、赤の X 印がハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。

注記： [Windows モビリティ センター]のアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にします。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]**の順に選択します。

   注記： [ユーザー アカウント制御]のウィンドウが表示されたら、**[はい]**をクリックします。

2. **[システム トレイ上のアイコン]**行で**[表示]**をクリックします。
3. **[OK]**をクリックします。

停止されたハードドライブでの電源管理

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってドライブが停止された場合、コンピューターは以下の状態になります。

- シャットダウンができない
- 次の注記に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない

   注記： コンピューターがバッテリ電源で動作中に完全なロー バッテリ状態になった場合は、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]で停止されたドライブであってもハイバネーションが開始されます。

コンピューターを移動する前に、完全にシャットダウンするか、スリープまたはハイバネーションを開始します。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアでは、以下のタスクを実行できます。

- [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]を有効または無効にする。

  注記： [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の有効または無効への切り替えが許可されているかどうかは、ユーザーの権限によって異なります。なお、Administrator グループのメンバーは Administrator 以外のユーザーの権限を変更できます。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを開いて設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [Windows モビリティ センター]でハードドライブ アイコンをクリックして、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ウィンドウを開きます。

   または

   [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。

   注記： [ユーザー アカウント制御]のウィンドウが表示されたら、**[はい]**をクリックします。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. **[OK]**をクリックします。

外付けドライブの使用

外付けのリムーバブル ドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が拡大されます。

USB ドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピーディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプターが装備されているハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ
- スーパーマルチ DVD±RW/CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- LightScribe スーパーマルチ DVD±RW/CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- ブルーレイ ROM DVD±R/RW スーパー マルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- LightScribe/スーパー マルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応）

注記： 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けドライブをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

注意： 装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なドライブを接続するときは、ドライブの電源コードを差し込んでいないことを確認してください。

1. ドライブをコンピューターに接続します。
2. 別電源が必要なドライブを接続した場合は、ドライブの電源コードを、接地した外部電源のコンセントに差し込みます。

別電源が必要なドライブを取り外すときは、コンピューターからドライブを取り外した後、ドライブの外部電源コードを抜きます。

別売の外付けドライブの接続

注記： 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けドライブをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

注意： 装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なドライブを接続するときは、ドライブの電源が切れていて、外部電源コードがコンピューターに接続されていないことを確認してください。

1. ドライブをコンピューターに接続します。
2. 外部電力を使用するドライブを接続する場合は、そのデバイスの電源コードをアース付き電源コンセントに差し込みます。
3. ドライブの電源を入れます。

別電源が必要でない外付けドライブを取り外すときは、ドライブの電源を切り、コンピューターから取り外します。別電源が必要な外付けドライブを取り外すときは、ドライブの電源を切り、コンピューターからドライブを取り外した後、ドライブの外部電源コードを抜きます。

オプティカル ドライブの共有

お使いのコンピューターにはオプティカル ドライブは装備されていませんが、同じ有線または無線ネットワーク上にあるオプティカル ドライブ装備の別のコンピューターとオプティカル ドライブを共有すると、ソフトウェアへのアクセスやアプリケーションのインストール、およびデータへのアクセスが簡単に行えます。ドライブの共有は Windows オペレーティング システムの機能であり、これによって、ユーザーは別のコンピューターのドライブをネットワーク上で使用できるようになります。

注記： ホーム ネットワークのセットアップおよびドライブの共有については、[ヘルプとサポート] を参照してください。

注記： DVD ムービーやゲーム ディスクといった種類のディスクはコピーが防止されている場合があります。その場合、DVD または CD を共有して使用することはできません。

外付けデバイス

USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用

USB コネクタを使用して、USB キーボード、マウス、ドライブ、プリンター、スキャナー、ハブなどの別売の外付けデバイスを、コンピューターまたは別売のドッキング デバイスか拡張製品に接続します。

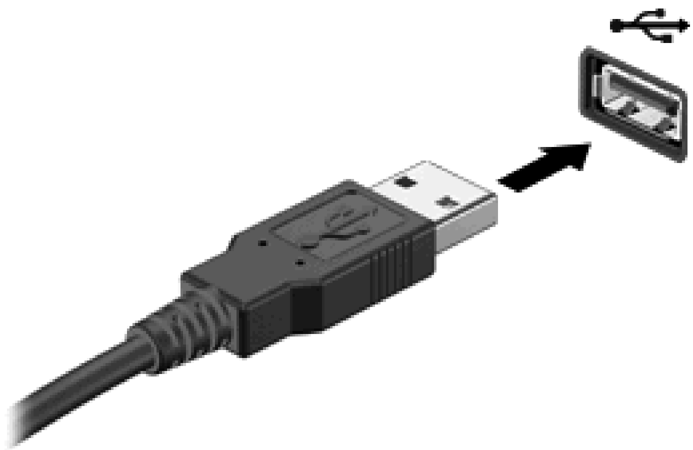
USB デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについて詳しくは、デバイスに付属の操作説明書を参照してください。

コンピューターには 4 つの USB コネクタがあり、USB 1.0、USB 1.1、および USB 2.0 の各デバイスに対応しています。 別売の USB ハブ、別売のドッキング デバイス、または別売の拡張製品には、コンピューターで使用できる USB コネクタが装備されています。

USB デバイスの接続

△ **注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ USB デバイスをコンピューターに接続するには、デバイスの USB ケーブルを USB コネクタに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

注記： USB デバイスを初めて接続した場合は、タスクバーの右端の通知領域に[デバイス ドライバー ソフトウェアをインストールしています]というメッセージが表示されます。

USB デバイスの取り外し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行って USB デバイスを安全に取り外します。

注意： USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスの取り外し時にケーブルを引っ張らないでください。

USB デバイスを取り外すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある**[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]**アイコンをクリックします。

   注記： タスクバーに**[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]**アイコンを表示するには、**[隠れているインジケーターを表示します]**アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

   注記： ハードウェア デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されます。

3. デバイスを取り外します。

メディア カードの使用

別売のメディア カードは、データを安全に格納し、簡単にデータを共有できるカードです。これらのカードは、他のコンピューター以外にも、デジタル メディア対応のカメラや PDA などでよく使用されます。

お使いのコンピューターのメディア カード スロットは、以下のフォーマットのメディア カードに対応しています。

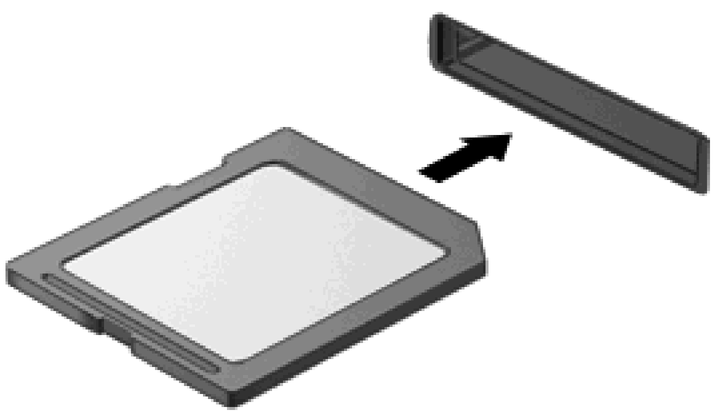
- メモリースティック（MS）
- メモリースティック PRO（MS PRO）
- マルチメディアカード（MMC）
- SD（Secure Digital）メモリ カード
- SDHC（Secure Digital High Capacity）メモリ カード
- xD ピクチャーカード（XD）
- xD ピクチャーカード（XD）Type H
- xD ピクチャーカード（XD）Type M

メディア カードの挿入

△ **注意：** メディア カードまたはコンピューターの損傷を防ぐため、メディア スロットにはどのような種類のアダプターも挿入しないでください。

注意： メディア カード コネクタの損傷を防ぐため、メディア カードを挿入するときには、無理な力を加えないでください。

1. メディア カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。
2. メディア スロットにカードを挿入し、カードがしっかりと収まるまで押し込みます。



デバイスが検出されると音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

メディア カードの取り出し

△ **注意：** データの損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行ってメディア カードを安全に取り出します。

1. 情報を保存し、メディア カードに関連するすべてのプログラムを閉じます。

   注記： データ転送を停止するには、オペレーティング システムの[コピー中]ウィンドウで**[キャンセル]**をクリックします。

2. 以下の手順でメディア カードを取り出します。

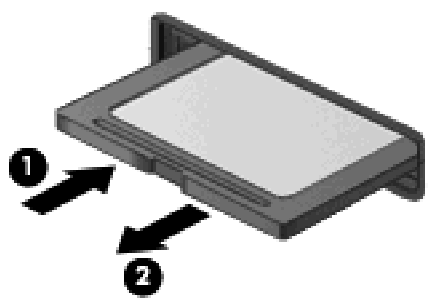
   a. タスクバーの右端の通知領域にある**[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]**アイコンをクリックします。

   注記： タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、**[隠れているインジケーターを表示します]**アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

   b. 一覧からメディア カード名をクリックします。

   注記： ハードウェア デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されます。

3. メディア カードを押して固定を解除し（**1**）、カードを引いてスロットから取り出します（**2**）。



9　セキュリティ

コンピューターの保護

Windows オペレーティング システムおよび Windows 以外のセットアップ ユーティリティによって提供される標準のセキュリティ機能により、個人設定およびデータをさまざまなリスクから保護できます。

このガイドに記載されている手順を実行して、以下の機能を使用します。

- パスワード
- ウィルス対策ソフトウェア
- ファイアウォール ソフトウェア
- 緊急セキュリティ アップデート
- 別売のセキュリティ ロック ケーブル

注記： セキュリティ ソリューションは、抑止効果を発揮することを目的として設計されていますが、ソフトウェアによる攻撃、またはコンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

注記： コンピューターをサポートあてに送付する場合は、事前にすべてのパスワードと指紋設定を削除してください。

コンピューターでの危険性	セキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	電源投入時パスワード
コンピューター ウィルス	[Norton Internet Security]ソフトウェア
データへの不正なアクセス	• ファイアウォール ソフトウェア • Windows Update
セットアップ ユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正アクセス	管理者パスワード
コンピューターへの現在または将来の脅威	Microsoft からの緊急セキュリティ アップデート
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	ユーザー パスワード
コンピューターの不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット（別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用）

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を保護するために選択する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じてさまざまな種類のパスワードを選択できます。パスワードは、Windows やセットアップ ユーティリティ（Windows が起動する前に機能する、プリインストールされたユーティリティ）で設定できます。

△ **注意：** コンピューターがロックされないように、設定したパスワードをすべて書き留めてください。ほとんどのパスワードは設定、変更、削除するときに表示されないため、パスワードをすぐに書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管する必要があります。

セットアップ ユーティリティの機能と Windows のセキュリティ機能には、同じパスワードを使用できます。また、複数のセットアップ ユーティリティ機能に同じパスワードを使用することもできます。

セットアップ ユーティリティでパスワードを設定する場合は、以下のガイドラインを参考にしてください。

- パスワードは、最長 8 文字まで英数字を組み合わせて指定できます。また、大文字と小文字は区別されます。
- セットアップ ユーティリティで設定するパスワードは、セットアップ ユーティリティのプロンプトで入力する必要があります。Windows に設定されるパスワードは、Windows プロンプトで入力する必要があります。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従う
- パスワードを書き留めておき、コンピューターから離れた他人の目にふれない安全な場所に保管する
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しない
- 部外者が簡単に知ることができる名前などの個人情報を使用しない

以下の項目では、Windows のパスワードおよびセットアップ ユーティリティのパスワードのそれぞれの機能について説明します。スクリーン セーバーのパスワードなど、Windows のパスワードについては、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択してください。

Windows でのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード	管理者レベルのデータへのアクセスを保護します **注記：** このパスワードは、セットアップ ユーティリティのデータへのアクセスには使用できません
ユーザー パスワード	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護します。コンピューターのデータへのアクセスも保護します。スリープまたはハイバネーションを終了するときに入力する必要があります

セットアップ ユーティリティでのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード*	• セットアップ ユーティリティへのアクセスを保護します • パスワードの設定後は、セットアップ ユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります **注意：** 管理者パスワードを忘れた場合は、セットアップ ユーティリティにアクセスできません

パスワード	機能
電源投入時パスワード*	● コンピューターのデータへのアクセスを保護します ● パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります。 **注意：** 電源投入時パスワードを忘れると、コンピューターの電源を入れることも、再起動も、ハイバネーションの終了もできなくなります **注記：** 管理者パスワードは、電源投入時パスワードの代わりに使用できます
*各パスワードについて詳しくは、以下の項目を参照してください。	

管理者パスワード

管理者パスワードは、セットアップ ユーティリティ内の設定値とシステム識別情報を保護します。パスワードの設定後は、セットアップ ユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります。

その管理者パスワードは、Windows で設定した管理者パスワードで置き換えができず、設定、入力、変更、または削除時に表示されません。必ずパスワードを書き留め、安全な場所に保管してください。

管理者パスワードの管理

パスワードを設定、変更および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。

   または

   コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、esc キーを押します。[Startup Menu]（スタートアップ メニュー）が表示されたら f10 キーを押します。

2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ設定）→**[Set Administrator Password]**（管理者パスワードの設定）の順に選択し、enter キーを押します。

   - 管理者パスワードを設定するには、**[Enter New Password]**（新しいパスワードの入力）および**[Confirm New Password]**（新しいパスワードの確認）フィールドにパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 管理者パスワードを変更するには、**[Enter Current Password]**（現在のパスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、**[Enter New Password]**および**[Confirm New Password]**フィールドに新しいパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 管理者パスワードを削除するには、**[Enter Password]**（パスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、enter キーを 4 回押します。

3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

管理者パスワードの入力

[Enter Password]（パスワードの入力）画面が表示されたら、管理者パスワードを入力して enter キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

電源投入時パスワード

電源投入時パスワードは、コンピューターが不正に使用されることを防ぎます。パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります。電源投入時パスワードは、設定、入力、変更、または削除する場合に表示されません。

電源投入時パスワードの管理

パスワードを設定、変更および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。

   または

   コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、esc キーを押します。[Startup Menu]（スタートアップ メニュー）が表示されたら f10 キーを押します。

2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ設定）→**[Set Power-On Password]**（電源投入時パスワードの設定）の順に選択し、enter キーを押します。

   - 電源投入時パスワードを設定するには、**[Enter New Password]**（新しいパスワードの入力）および**[Confirm New Password]**（新しいパスワードの確認）フィールドにパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 電源投入時パスワードを変更するには**[Enter Current Password]**（現在のパスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、**[Enter New Password]**および**[Confirm New Password]**フィールドに新しいパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 電源投入時パスワードを削除するには、**[Enter Current Password]**フィールドに現在のパスワードを入力し、enter キーを 4 回押します。

3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

電源投入時パスワードの入力

[Enter Password]画面が表示されたらパスワードを入力して enter キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

ウィルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューターがコンピューター ウィルスの危険にさらされます。コンピューター ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、プログラム、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウィルスが検出、駆除されるとともに、通常、ウィルスの被害にあった箇所を修復することも可能です。新しく発見されたウィルスからコンピューターを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

お使いのコンピューターには、ウィルス対策プログラムの[Norton Internet Security]がプリインストールされています。ソフトウェアには 60 日間の無料更新サービスが含まれています。延長更新サービスを購入し、60 日以後も新しいウィルスからコンピューターを保護することを強くおすすめします。[Norton Internet Security]ソフトウェアの使用と更新、および延長更新サービスの購入の手順は、プログラム内から参照できます。[Norton Internet Security]を表示しアクセスするには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]**の順に選択します。

コンピューター ウィルスについてさらに詳しく調べるには、[ヘルプとサポート]の[検索]テキストフィールドに「ウィルス」と入力してください。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、第三者がコンピューターや個人用ファイルにアクセスしたり、使用者に関する情報を不正に取得してしまう可能性があります。プライバシを保護するため、コンピューターにプリインストールされているファイアウォール ソフトウェアを使用してください。

ネットワーク処理のログおよびレポート情報や、自動アラームなどのファイアウォール機能を使用して、コンピューターでの送受信の流れを監視します。詳しくは、ファイアウォールの説明書を参照するか、ファイアウォールの製造元に問い合わせてください。

注記： 特定の状況下では、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を永久に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

緊急セキュリティ アップデートのインストール

注意： Microsoft 社は、緊急アップデートに関する通知を配信しています。お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのすべてのオンライン緊急アップデートをインストールしてください。

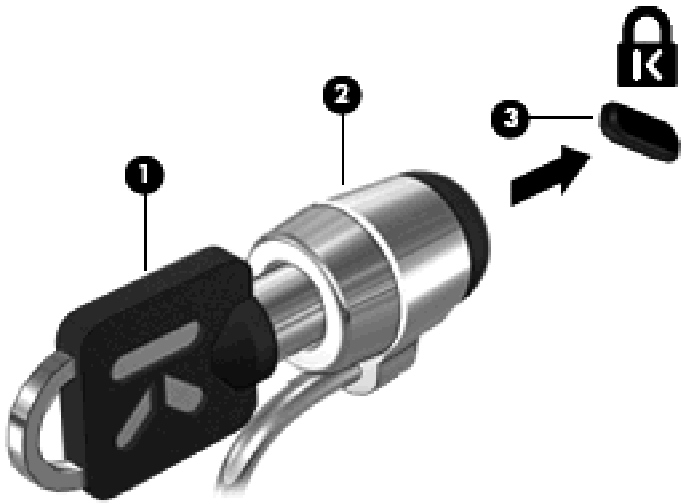
オペレーティング システムやその他のソフトウェアに対するアップデートが、コンピューターの工場出荷後にリリースされている可能性があります。すべての使用可能なアップデートが確実にコンピューターにインストールされているようにするには、以下の操作を行います。

- コンピューターのセットアップが完了したら、できる限りすぐに[Windows Update]を実行します。**[スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]**の順に選択すると表示されるアップデート リンクを使用します。
- [Windows Update]は毎月実行してください。
- Windows およびその他の Microsoft のプログラムのアップデートがリリースされる度に、Microsoft 社の Web サイトおよび[ヘルプとサポート]のアップデート リンクから入手します。

別売のセキュリティ ロック ケーブルの接続

注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。

1. 固定された物体にセキュリティ ロック ケーブルを巻きつけます。
2. 鍵（**1**）をケーブル ロック（**2**）に差し込みます。
3. セキュリティ ロック ケーブルをコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロット（**3**）に差し込み、鍵をかけます。



10 [HP QuickWeb]の設定変更

[HP QuickWeb]の有効化および無効化

Windows オペレーティング システムから[HP QuickWeb]を無効または再び有効にするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP QuickWeb]**の順にクリックします。**[HP QuickWeb Installer]**フォルダーが開きます。**[HP QuickWeb Configuration Tool]**（HP QuickWeb 構成ツール）をクリックします。
2. **[Enable QuickWeb]**（[HP QuickWeb]を有効にする）チェック ボックスにチェックを入れます。
3. **[OK]**をクリックします。

注記： [HP QuickWeb Configuration Tool]には、**[スタート]→[コントロール パネル]→[表示方法]**矢印の順にクリックしてアクセスすることもできます。**[大きいアイコン]**または**[小さいアイコン]**を選択して、[HP QuickWeb Configuration Tool]を探します。

A　セットアップ ユーティリティ（BIOS）

セットアップ ユーティリティの起動

セットアップ ユーティリティは ROM ベースのユーティリティで、情報の表示とシステムのカスタマイズを行います。Windows オペレーティング システムが動作しない場合にも使用できます。

ユーティリティはコンピューターに関する情報をレポートし、起動、セキュリティ、および他のオプションを設定します。

セットアップ ユーティリティを開始するには、以下の操作を行います。

▲　コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。

または

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、esc キーを押します。
2. [Startup Menu]（スタートアップ メニュー）が表示されたら f10 キーを押します。

セットアップ ユーティリティの使用

セットアップ ユーティリティでの移動および選択

セットアップ ユーティリティは Windows ベースではないため、タッチパッドに対応していません。移動および選択は、キーを押して行います。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
- 一覧から項目を選択したり、有効/無効などのフィールドを切り替えたりするには、矢印キーを使用するか、f5 キーまたは f6 キーを使用します。
- 項目を選択するには、enter キーを押します。
- テキスト ボックスを閉じるか、またはメニュー表示に戻るには、esc キーを押します。
- セットアップ ユーティリティの起動中にその他の操作や選択項目の情報を表示するには、f1 キーを押します。

セットアップ ユーティリティの言語の変更

以下の手順では、セットアップ ユーティリティの言語を変更する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが起動していない場合、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが起動している場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。

   または

   コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、esc キーを押します。[Startup Menu]（スタートアップ メニュー）が表示されたら f10 キーを押します。
2. 矢印キーを使用して**[System Configuration]**（システム コンフィギュレーション）→**[Language]**（言語）の順に選択し、enter キーを押します。
3. 矢印キーを使用して言語を選択し、enter キーを押します。
4. 選択した言語を確認するメッセージが表示されたら、enter キーを押します。
5. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更はすぐに有効になります。

システム情報の表示

以下の手順では、セットアップ ユーティリティでシステム情報を表示する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが起動していない場合、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが起動している場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。

   または

   コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、esc キーを押します。[Startup Menu]（スタートアップ メニュー）が表示されたら f10 キーを押します。
2. **[Main]**（メイン）メニューを選択します。システム時刻および日付などのシステム情報およびコンピューターの識別情報が表示されます。
3. 設定を変更しないでセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して、**[Exit]**（終了）→**[Exit Discarding Changes]**（変更を取り消して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

セットアップ ユーティリティでの初期設定の復元

以下の手順では、セットアップ ユーティリティの初期設定を復元する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが起動していない場合、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが起動している場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。

   または

   コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、esc キーを押します。[Startup Menu]（スタートアップ メニュー）が表示されたら f10 キーを押します。

2. 矢印キーを使用して **[Exit]**（終了）→**[Load Setup Defaults]**（初期設定値をロードする）の順に選択し、enter キーを押します。

3. セットアップの確認が表示されたら、enter キーを押します。

4. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]→[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

セットアップ ユーティリティの初期設定値は、コンピューターを再起動したときに有効になります。

注記：　上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワード、セキュリティ、および言語の設定は変更されません。

セットアップ ユーティリティの終了

変更を保存または保存しないでセットアップ ユーティリティを終了できます。

- 現在のセッションからの変更内容を保存して、セットアップ ユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

  セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、esc キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

- 現在のセッションからの変更内容を保存しないで、セットアップ ユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

  セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、esc キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]→[Exit Discarding Changes]**（変更を保存しないで終了）の順に選択し、enter キーを押します。

どちらかを選択すると、コンピューターが再起動され Windows が起動します。

セットアップ ユーティリティのメニュー

このセクションのメニューの表に、セットアップ ユーティリティのオプションの概要を示します。

注記：　この章に記載されているセットアップ ユーティリティの一部のメニュー項目は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

[Main]（メイン）メニュー

選択	設定内容
System information（システム情報）	● システム時刻および日付を表示したり変更したりします ● コンピューターの識別情報を表示します ● プロセッサ、メモリ サイズ、システム BIOS、およびキーボード コントローラーのバージョン（一部のモデルのみ）の仕様情報を表示します

[Security]（セキュリティ）メニュー

選択	設定内容
Administrator password（管理者パスワード）	管理者パスワードを入力、変更、または削除します
Power-On Password（電源投入時パスワード）	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します

[System Configuration]（システム コンフィギュレーション）メニュー

選択	設定内容
Language Support（対応言語）	セットアップ ユーティリティの言語を変更します
Virtualization Technology（仮想化テクノロジ）（一部のモデルのみ）	仮想化テクノロジを有効/無効にします
Fan Always On（ファンを常にオン）	ファンを常にオンにしておくかどうかを切り替えます。有効の場合、コンピューターのファンが常にオンになります
Action Key Mode（操作キー モード）	[Action Key Mode]（操作キー モード）を有効/無効にします
Boot Options（ブート オプション）	以下のブート オプションを設定します ● POST Hot Key Delay (sec.)（POST ホットキーの遅延（秒））：ユーザーがホットキーを押すときの遅延（キー入力を待つ時間）を、5 秒間隔（0、5、10、15、20）で設定します ● QuickWeb Support（QuickWeb サポート）：セットアップ ユーティリティ起動中の[HP QuickWeb]ブート メニューを有効/無効にします。セットアップ ユーティリティの起動遅延を、5 秒間または 10 秒間に設定します ● CD-ROM Boot（CD-ROM の読み出しが可能なオプティカル ドライブからのブート）：CD-ROM からのブートを有効/無効にします ● Floppy Boot（フロッピーディスク ドライブからのブート）：フロッピーディスクからのブートを有効/無効にします ● Internal Network Adapter Boot（内蔵ネットワーク アダプター ブート）：ネットワーク アダプターからのブートを有効/無効にします ● Boot Order（ブート順序）：以下のブート順序を設定します ◦ コンピューター本体のハードドライブ ◦ 内蔵 CD/DVD ROM ドライブ ◦ USB メモリ上のドライブ/USB ハードドライブ ◦ USB CD/DVD ROM ドライブ

選択	設定内容
	◦ USB フロッピー ◦ ネットワーク アダプター
LAN Power Saving（LAN 省電力）（一部モデルのみ）	LAN の省電力モードを有効/無効にします

[Diagnostics]（診断）メニュー

選択	設定内容
Primary Hard Disk Self Test（プライマリ ハードドライブの自己診断）	ハードドライブの総合的な自己診断を実行します
Memory Test（メモリ テスト）	システム メモリの診断テストを実行します

BIOS の更新

HP の Web サイトから、BIOS の更新されたバージョンを入手できます。HP の Web サイトには、多くの BIOS アップデートが **SoftPaq** という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロード パッケージには、このファイルのインストールやトラブルシューティングに関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。

BIOS のバージョンの確認

利用可能な BIOS アップデートの中に、現在コンピューターにインストールされている BIOS よりも新しいバージョンの BIOS があるかどうかを調べるには、現在インストールされているシステム BIOS のバージョンを確認する必要があります。

BIOS バージョン情報（ROM の日付またはシステム BIOS とも呼ばれます）を表示するには、fn ＋ esc キーを押す（Windows を起動している場合）か、セットアップ ユーティリティを使用します。

セットアップ ユーティリティを使用して BIOS の情報を表示するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. セットアップ ユーティリティの起動時にシステム情報が表示されない場合は、矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）メニューを選択します。

   [Main]メニューを選択すると、BIOS およびその他のシステムの情報が表示されます。
3. セットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Discarding Changes]**（変更を取り消して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

BIOS アップデートのダウンロード

△ **注意：** コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用した信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリ電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスや別売の拡張製品に接続されているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜いて外部からの電源供給を遮断することはおやめください。

コンピューターをシャットダウンしたり、スリープやハイバネーションを開始したりしないでください。

コンピューター、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。

BIOS アップデートをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. お使いのコンピューター用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページを表示します。

   [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択し、ソフトウェア、ドライバー、および BIOS の更新へのリンクをクリックします。

2. 画面の説明に沿ってお使いのコンピューターを指定し、ダウンロードする BIOS アップデートを表示します。

3. ダウンロード エリアで、以下の操作を行います。

   a. お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンよりも新しい BIOS を確認します。日付や名前、またはその他の、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。

   b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。

      BIOS アップデートをダウンロードする場所へのパスをメモします。このパスは、アップデートをインストールするときに必要です。

注記： コンピューターをネットワークに接続している場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コンピューター]**の順に選択して、Windows の[エクスプローラー]を起動します。

2. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、[ローカル ディスク（C:)]を指定します。

3. BIOS ソフトウェアをダウンロードした時のメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。

4. 拡張子が.exe であるファイル（filename.exe など）をダブルクリックします。

   BIOS のインストールが開始されます。

5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。BIOS が正しく更新されたら、コンピューターは自動的にシャットダウンします。

注記： インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

プログラムおよびドライバーの更新

BIOS アップデート以外のソフトウェアをダウンロードしてインストールするには、以下の操作を行います。

1. お使いのコンピューター用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページを表示します。

   [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択して最新ソフトウェアを提供するページへのリンクを選択します。

2. 画面の説明に沿って操作し、アップデートするソフトウェアを見つけます。
3. ダウンロード エリアで、ダウンロードするソフトウェアを選択し、画面の説明に沿って操作します。

   注記： ソフトウェアをダウンロードする場所へのパスのメモを取っておきます。ソフトウェアをインストールするときに、このパスが必要です。

4. ダウンロードが完了したら、**[スタート]→[コンピューター]**の順に選択して、Windows の[エクスプローラー]を開きます。
5. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、[ローカル ディスク（C:)]を指定します。
6. BIOS ソフトウェアをダウンロードした時のメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
7. 拡張子が.exe であるファイル（filename.exe など）をダブルクリックします。

   インストールが開始されます。

8. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

注記： インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

B　バックアップおよび復元

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態が復元されます。システムを導入後、最初のソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐにリカバリ ディスクを作成することをおすすめします。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

オペレーティング システムに組み込まれているツールおよび[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアは、システムに障害が発生した場合に以下のタスクによって情報を保護および復元できるように設計されています。

- [HP Recovery Manager]を使用してリカバリ ディスクを作成します。
- 重要なシステムファイルを保護するために定期的に情報をバック アップします。
- Windows の[システムの復元]機能を使用してシステムの復元ポイントを作成し、定期的にディスクにコピーします。
- プログラムまたはドライバーを復元します（[HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能）。この機能は、システム全体の復元を実行しないでプログラムまたはドライバーを再インストールするために役立ちます。
- システム全体を復元します（[HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能）。[HP Recovery Manager]を使用すると、システムに障害が発生した場合や動作が不安定になった場合、オペレーティング システムとソフトウェアを修復できます。[HP Recovery Manager]は、ハードドライブ上の専用の復元用パーティションから実行するか、作成または購入したリカバリ ディスクから実行できます。

リカバリ ディスクの作成

システムに重大な障害が発生した場合や動作が不安定になった場合にシステムを工場出荷時の状態に復元できるように、リカバリ ディスクを作成しておくことをおすすめします。リカバリ ディスクは、コンピューターを最初にセットアップした後、なるべく早く作成してください。

リカバリ ディスクは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。ソフトウェアを使用して作成できるリカバリ ディスクは 1 セットのみです。

注記：　お使いのコンピューターにオプティカル ドライブが搭載されていない場合は、外付けオプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）を使用してリカバリ ディスクを作成するか、または HP の Web サイトからお使いのコンピューターに適切なリカバリ ディスクを購入できます。

注記：　外付けオプティカル ドライブは、ハブやドッキング ステーションなど他の外付けデバイスにある USB コネクタではなく、コンピューター本体の USB コネクタに接続する必要があります。

リカバリ ディスクを作成するには、事前に以下のガイドラインを確認してください。

- 高品質な DVD-R、2 層記録 DVD-R、DVD+R、2 層記録 DVD+R、BD-R（書き込み可能なブルーレイ ディスク）、または CD-R ディスクを用意する必要があります。これらのディスクは、すべて別売です。DVD および BD には、CD よりはるかに大きな容量を書き込むことができます。CD を使用すると最大 20 枚のディスクが必要になる場合でも、DVD または BD では数枚のみで済みます。

> **注記：** [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアは、CD-RW、DVD ±RW、2 層記録 DVD±RW、および BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどのような書き換え可能なディスクには対応していません。

- このプロセスでは、コンピューターを外部電源に接続する必要があります。
- リカバリ ディスクは、1 台のコンピューターに対して 1 セットのみ作成できます。
- オプティカル ドライブにディスクを挿入する前に、各ディスクに番号を付けておいてください。
- 必要に応じて、リカバリ ディスクの作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、ディスク作成プロセスを続行するか尋ねられます。

リカバリ ディスクを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]**（リカバリ マネージャー）**→[Recovery Disc Creation]**（リカバリ ディスク作成）の順に選択します。

   [HP Recovery Manager]が起動します。

2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

情報のバックアップ

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態が復元されます。システムを導入後、最初のソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐにリカバリ ディスクを作成してください。これらのリカバリ ディスクを使用すると、システムが不安定になった場合またはシステムに障害が発生した場合に、コンピューターを起動（ブート）できます。

その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。以下のようなときに、システムをバックアップします。

- 定期的な間隔

> **注記：** 情報を定期的にバックアップするようにリマインダーを設定します。

- コンピューターを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

バックアップを行う場合は、以下の点を参考にしてください。

- [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用してリカバリ ディスクを作成します。
- Windows の[システムの復元]機能を使用してシステムの復元ポイントを作成し、定期的にディスクにコピーします。
- 個人用ファイルを[ドキュメント]ライブラリに保存し、このフォルダーを定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。

- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショット（画面のコピー）を撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、画面のコピーを保存しておくと時間を節約できます。

  画面をコピーしてワープロ文書などに貼り付けるには、以下の操作を行います。

  1. 画面を表示します。
  2. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。

     アクティブなウィンドウのみをコピーするには、alt ＋ fn ＋ prt sc キーを押します。

     画面全体をコピーするには、fn ＋ prt sc キーを押します。
  3. ワープロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して**[編集]**→**[貼り付け]**の順に選択します。
  4. 文書を保存します。
- 情報は、外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。
- ディスクにバックアップする場合は、以下の種類の別売のディスクを使用できます。CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD+R（2 層記録（DL）対応）、DVD-R、DVD-R（2 層記録（DL）対応）、および DVD±RW。使用できるディスクの種類は、お使いのコンピューターに接続されている外付けオプティカル ドライブの種類によって異なります。

  注記： 外付けオプティカル ドライブは、ハブやドッキング ステーションなど他の外付けデバイスにある USB コネクタではなく、コンピューター本体の USB コネクタに接続する必要があります。

  注記： DVD および 2 層記録（DL）対応 DVD を使用すると、CD より保存できる情報量が増えるため、バックアップに必要なリカバリ ディスクの数が少なくなります。
- ディスクにバックアップする場合は、各ディスクに番号を付けてからコンピューターのオプティカル ドライブに挿入します。

Windows の[バックアップと復元]の使用

Windows の[バックアップと復元]を使用してバックアップを作成するには、以下の操作を行います。

注記： お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。

注記： ファイルのサイズやデバイスの処理速度によっては、バックアップ処理に 1 時間以上かかることがあります。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[メンテナンス]**→**[バックアップと復元]**の順に選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップを設定および作成します。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

システムの復元ポイントの使用

システムをバックアップする場合は、システムの復元ポイントを作成します。システムの復元ポイントによって、特定の時点でのハードドライブのスナップショットに名前を付けて保存できます。後でシステムに対する変更を破棄する場合、そのポイントまで戻ってシステムを回復できます。

注記： 以前の復元ポイントに復元しても、最後の復元ポイント後に作成されたデータ ファイルや電子メールには影響がありません。

また、追加の復元ポイントを作成して、システム ファイルおよび設定の保護を強化できます。

復元ポイントを作成するとき

- ソフトウェアやハードウェアを追加または大幅に変更する前
- システムが最適な状態で動作しているとき（定期的に行います）

注記： 復元ポイントまで戻した後に考えが変わった場合は、その復元を取り消すことができます。

システムの復元ポイントの作成

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[システム]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[システムの保護]**をクリックします。
3. **[システムの保護]**タブをクリックします。
4. **[保護設定]**の下で、復元ポイントを作成するディスクを選択します。
5. **[作成]**をクリックします。
6. 画面に表示される説明に沿って操作します。

以前のある日時の状態への復元

コンピューターが最適な状態で動作していた（以前のある日時に作成した）復元ポイントまで戻すには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[システム]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[システムの保護]**をクリックします。
3. **[システムの保護]**タブをクリックします。
4. **[システムの復元]**ボタンをクリックします。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

復元の実行

注記： ファイルの復元は、以前バックアップを行ったファイルに対してのみ可能です。お使いのコンピューターをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用してリカバリ ディスクのセット（ドライブ全体のバックアップ）を作成することをおすすめします。

システムに障害が発生した場合やシステムが不安定になった場合、[HP Recovery Manager]ソフトウェアを使用してシステムを修復または復元できます。[HP Recovery Manager]は、ユーザーが作成（一部のモデルのみ）または購入したリカバリ ディスクから実行するか、ハードドライブまたは SSD（Solid State Drive）上にある専用の復元用パーティションから実行できます。

注記： Windows は、[システムの復元]機能など、独自の修復機能を備えています。これらの機能をまだ試していない場合は、試してから[HP Recovery Manager]を使用してください。

注記： [HP Recovery Manager]では、出荷時にプリインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードしたファイルまたは製造元から提供されたディスクから再インストールする必要があります。

リカバリ ディスクを使用した復元

リカバリ ディスクからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 1 枚目のリカバリ ディスクをオプティカル ドライブに挿入し、コンピューターを再起動します。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

専用の復元用パーティションからの復元

一部のモデルでは、[スタート]ボタンをクリックするか、f11 キーを押して、ハードドライブ上のパーティションから復元を実行できます。この操作によって、コンピューターが工場出荷時の状態に戻ります。

復元用パーティションからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. 以下のどちらかの方法で[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）にアクセスします。
   - **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]**（リカバリ マネージャー）→**[Recovery Manager]**の順に選択します。

     または
   - コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。次に、[Press <f11> for recovery]というメッセージが表示されている間に、f11 キーを押します。
2. **[Recovery Manager]**ウィンドウの**[System Recovery]**（システムの復元）をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

索引